

深沢地区周辺 道路整備計画

令和 8 年 (2026 年) 7 月

深沢地区周辺道路整備計画

目 次

1. 深沢地区周辺道路整備計画の概要	1
1.1 道路整備計画策定の目的	1
1.2 道路整備計画の位置づけ	1
1.3 道路整備計画の対象範囲	2
2. 現状と課題	3
2.1 深沢地域の新しいまちづくり基本計画の整理	3
2.2 土地利用状況	4
2.3 道路交通状況	6
2.4 道路・交通の課題	20
3. 道路整備計画の基本目標	28
3.1 基本目標.....	28
4. 道路整備計画	29
4.1 整備スケジュール	29
4.2 道路整備計画	29
5. 道路整備の実施手順	39
6. 道路整備計画の進捗管理	40

1. 深沢地区周辺道路整備計画の概要

1.1 道路整備計画策定の目的

深沢地区では、鎌倉駅周辺、大船駅周辺に並ぶ鎌倉市の新都市拠点の形成を目指し、村岡・深沢地区土地区画整理事業に加え、東海道本線大船・藤沢駅間新駅設置に着手するとともに、建築物やまち並みの景観ルールなどを示す「深沢地区まちづくりガイドライン Ver.1」を策定するなど、新たなまちづくりの実現に向けた取組を進めています。

深沢地区周辺道路整備計画（以下「道路整備計画」という。）は、深沢地区の土地区画整理事業の着手を契機に、現状及び将来を見据え、平成16年（2004年）9月に策定した「深沢地域の新しいまちづくり基本計画」で示した交通の方針を踏まえた、円滑な交通処理、他地域とのアクセスの向上、安心して往来ができる歩行者・自転車ネットワークづくり等を実現するために定めるものです。

1.2 道路整備計画の位置づけ

道路整備計画は、「鎌倉ミライ共創プラン2030」、「鎌倉市都市マスタープラン」等を上位計画とし、「深沢地域の新しいまちづくり基本計画」の交通の方針で示した道路等の整備方針を実現するものです。

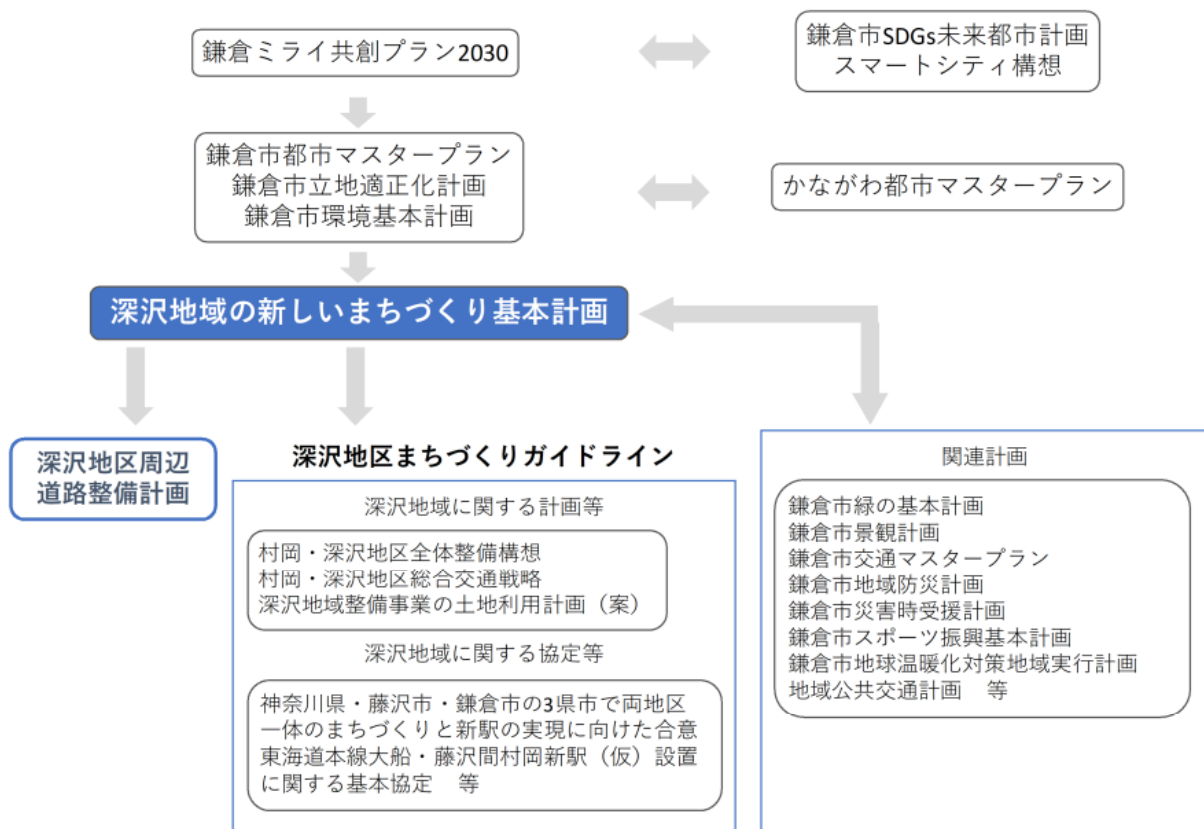
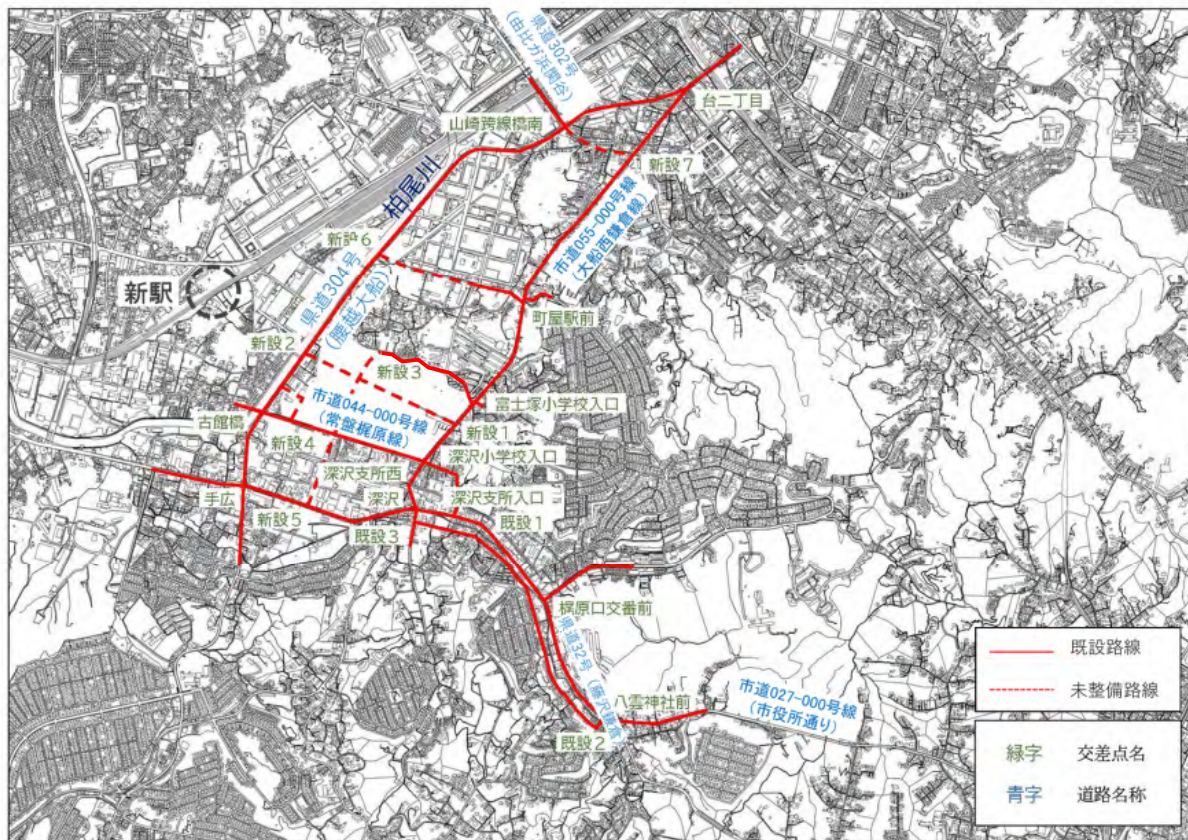


図 1-1 計画の位置づけ

1.3 道路整備計画の対象範囲

道路整備計画の対象範囲は、「深沢地域の新しいまちづくり基本計画」の交通に関する整備方針図で示す範囲を基本とし、現況の交通環境を踏まえて以下の範囲とします。



※県道 302 号（由比ガ浜関谷）は、高速横浜環状南線・横浜湘南道路などの周辺道路開通後、道路ネットワークの検討や最適なルート及び構造形式等を精査し、計画の変更を検討します。

参考：深沢地域の新しいまちづくり基本計画（平成 16 年（2004 年）9 月）

図 1-2 道路整備計画の対象範囲@

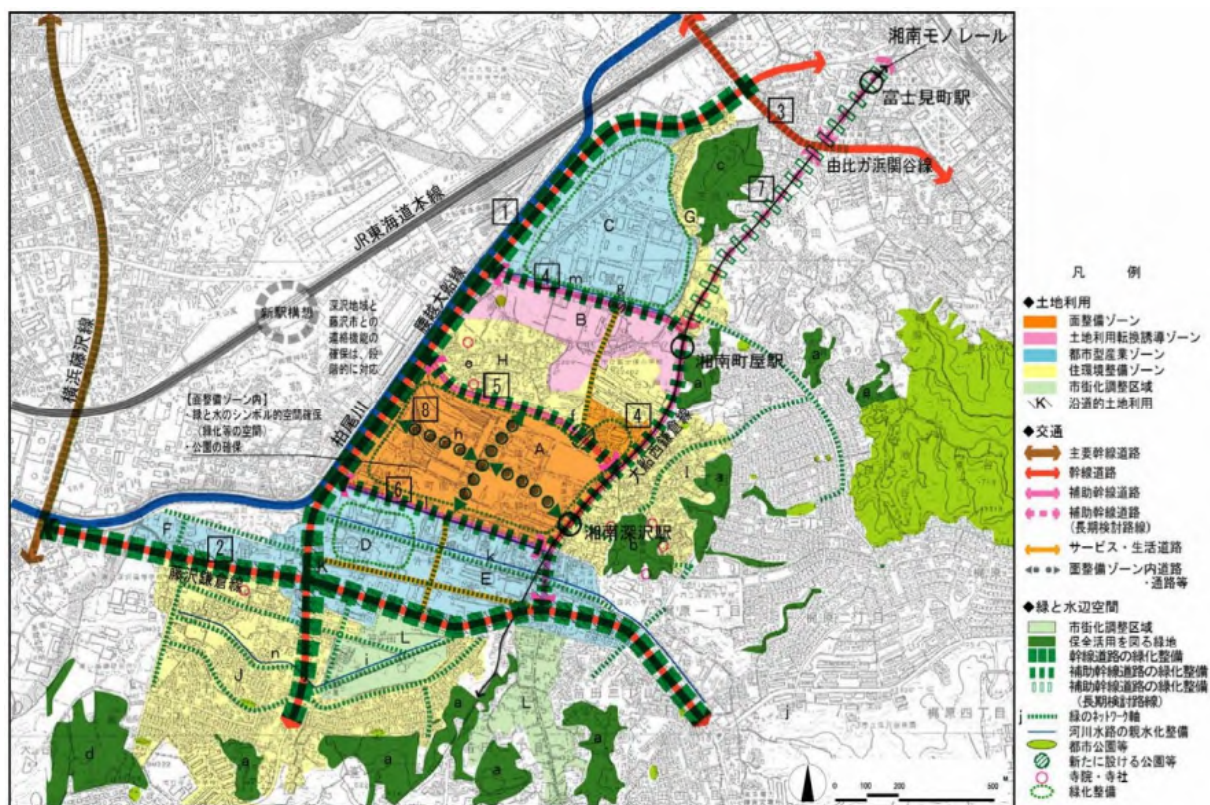
2. 現状と課題

2.1 深沢地域の新しいまちづくり基本計画の整理

「深沢地域の新しいまちづくり基本計画」では、土地利用の方針、交通の方針、緑と水辺空間、環境・景観の方針、機能の導入方針が掲げられ、以下のまちづくりの方針が示されています。

特に道路整備計画に関連する交通の方針では、深沢地域の将来の交通のあり方として、円滑な交通処理、他地域とのアクセスの向上、安心して往来できる歩行者・自転車ネットワークづくり等をめざすとともに、大気汚染・地球温暖化防止等、環境負荷の軽減を図ることを目標に、「道路等」と「公共交通」の整備方針を策定しています。

また、緑と水辺空間、環境・景観の方針では、将来の緑のあり方として、貴重な資産である斜面緑地等の「既存の緑の保全・活用」や公園などの「新しい緑の創造」について整備方針を策定しています。将来の水辺空間のあり方として、新川などの「既存河川の親水化」、及び「新たな水辺空間の創出」について整備方針を策定しています。



出典：深沢地域の新しいまちづくり基本計画（平成 16 年（2004 年）9 月）

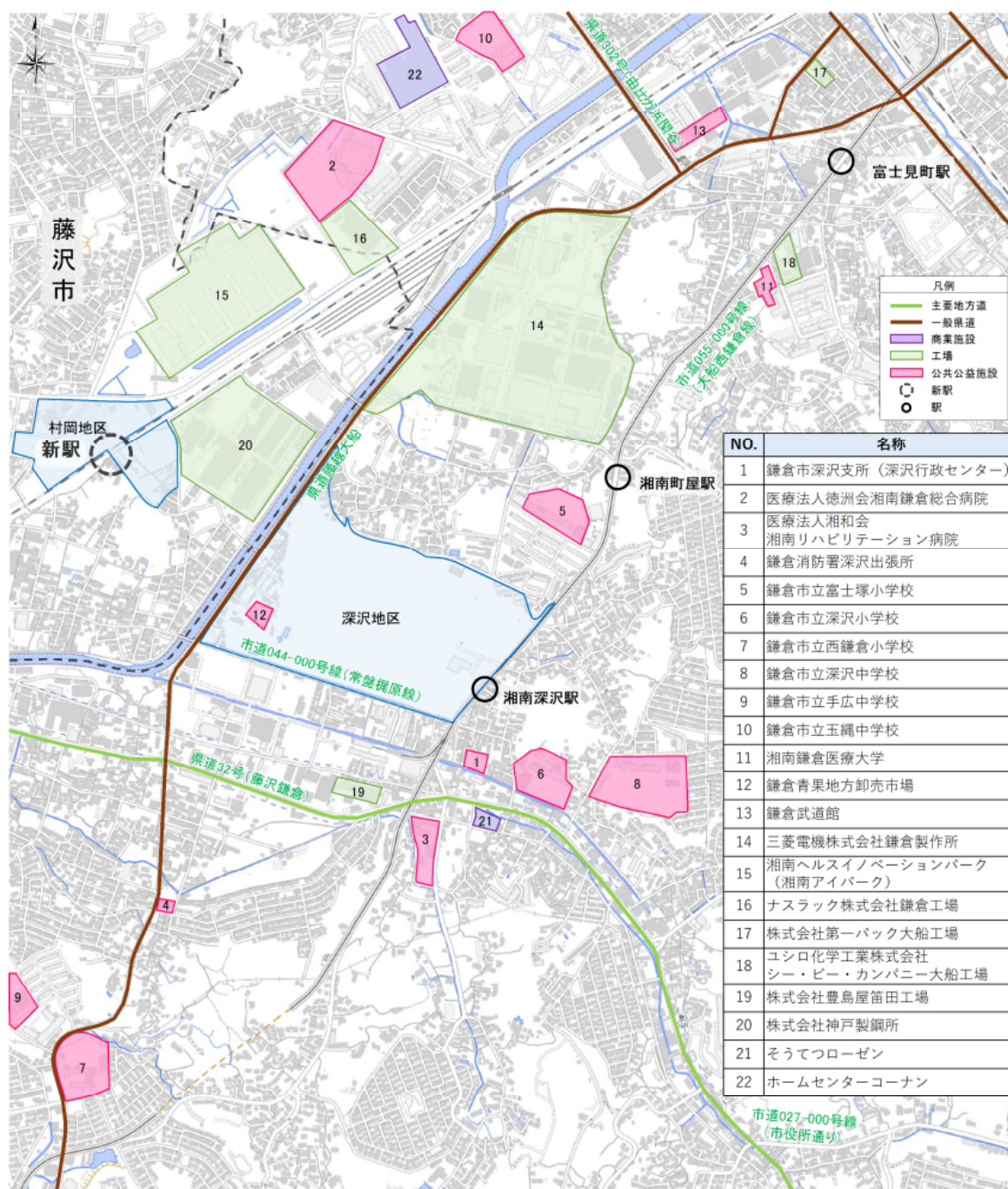
図 2-1 まちづくりの方針図

2.2 土地利用状況

(1) 土地利用の現況

深沢地区は、令和 5 年（2023 年）10 月に「村岡・深沢地区土地区画整理事業」として国土交通大臣から事業計画認可を受け、まちづくりがスタートしました。

深沢地区の周辺には、深沢支所（深沢行政センター）や深沢小学校、医療法人湘和会湘南リハビリテーション病院などの公共公益施設、三菱電機株式会社鎌倉製作所などの工場があります。

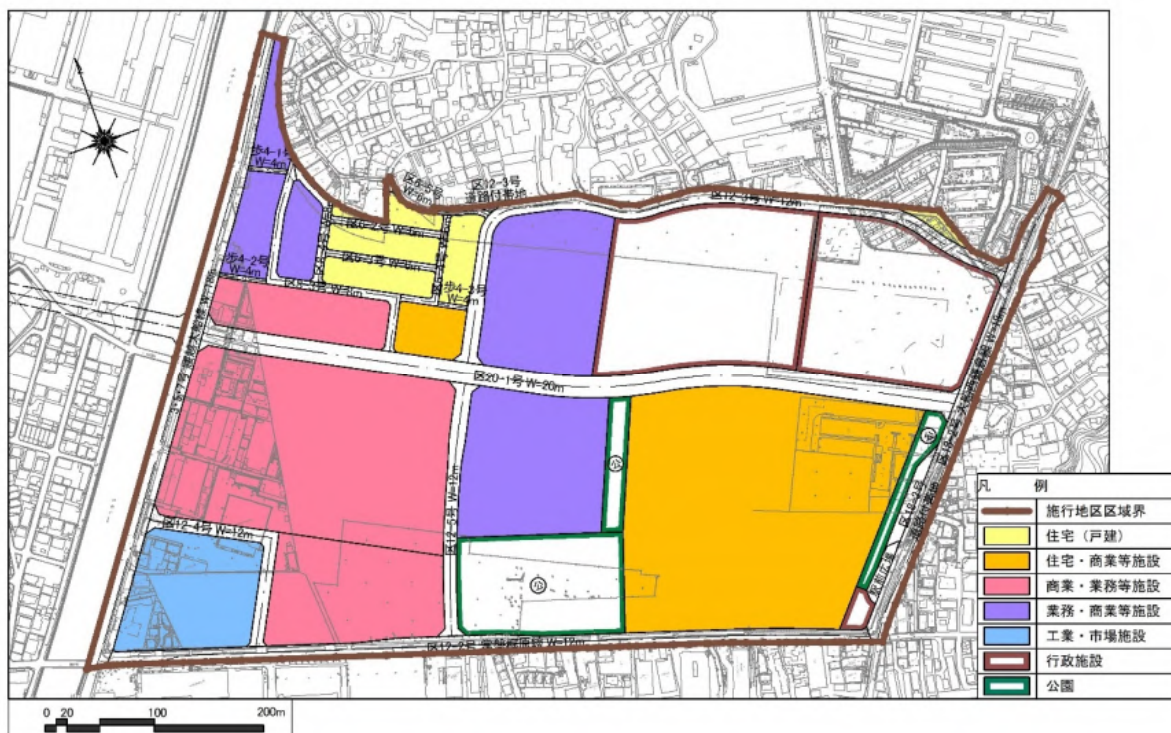


参考：全国小売店総覧、鎌倉市 HP、地理院地図等（令和 8 年（2026 年）6 月）図 2-2 深沢地区の土地利用状況

(2) 深沢地区が目指す土地利用の考え方

令和 5 年（2023 年）10 月に土地区画整理事業の事業計画認可を受けた深沢地区の市街化予想図では、行政施設、商業施設、住宅、公園、業務施設等の設置を計画しています。

この深沢地区のまちづくりでは、子どもから高齢者、住民や来訪者、働く人と行政が共に関わり合う良質な生活文化とコミュニティの実現及び住宅、商業施設、オフィスなど、それぞれの施設を複合的に利用することにより、人もまちも共に健康で、持続可能なまちをつくり、「地域で愛され続けるまち」の構築を目指しています。



出典：市街化予想図（令和 5 年（2023 年）10 月）

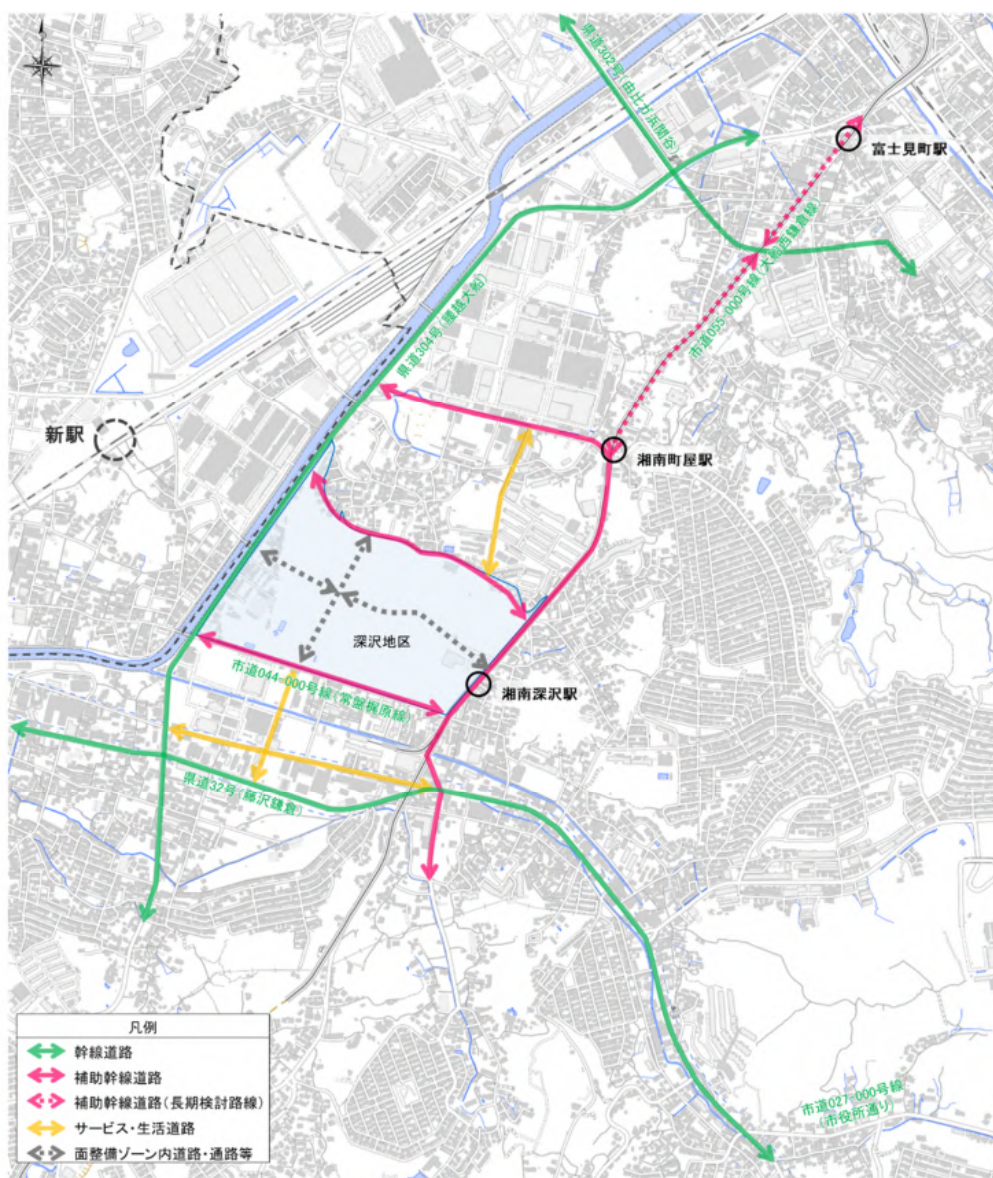
図 2-3 深沢地区の市街化予想図

2.3 道路交通状況

(1) 道路網・都市計画道路の状況

1) 道路網の現況

深沢地区周辺の道路は、「深沢地域の新しいまちづくり基本計画」において、主要な拠点間を結び、深沢地区の骨格を形成する「幹線道路※¹」（県道 302 号（由比ガ浜関谷）、県道 304 号（腰越大船）、県道 32 号（藤沢鎌倉））や地域内の交通を担う「補助幹線道路※²」（市道 055-000 号線（大船西鎌倉線）、市道 044-000 号線（常盤梶原線））、地域の生活利便性を向上させる「サービス・生活道路※³」に分類されています。



参考：深沢地域の新しいまちづくり基本計画（平成 16 年（2004 年）9 月）

- ※¹ 幹線道路：広域的幹線道路への速やかなアクセスと円滑な交通処理、及び地域の生活道路への通過交通の流入を防ぎ安全性を向上させるための地域の骨格となる道路。
- ※² 補助幹線道路：幹線道路を補完し、ラダー状（梯子状）の道路ネットワークを形成し、安全性、利便性、快適性、防災性など、地区の都市機能の向上を図る道路。
- ※³ サービス・生活道路：地区内交通需要を幹線道路・補助幹線道路へスムーズに誘導するための道路。

図 2-4 道路網の整備方針

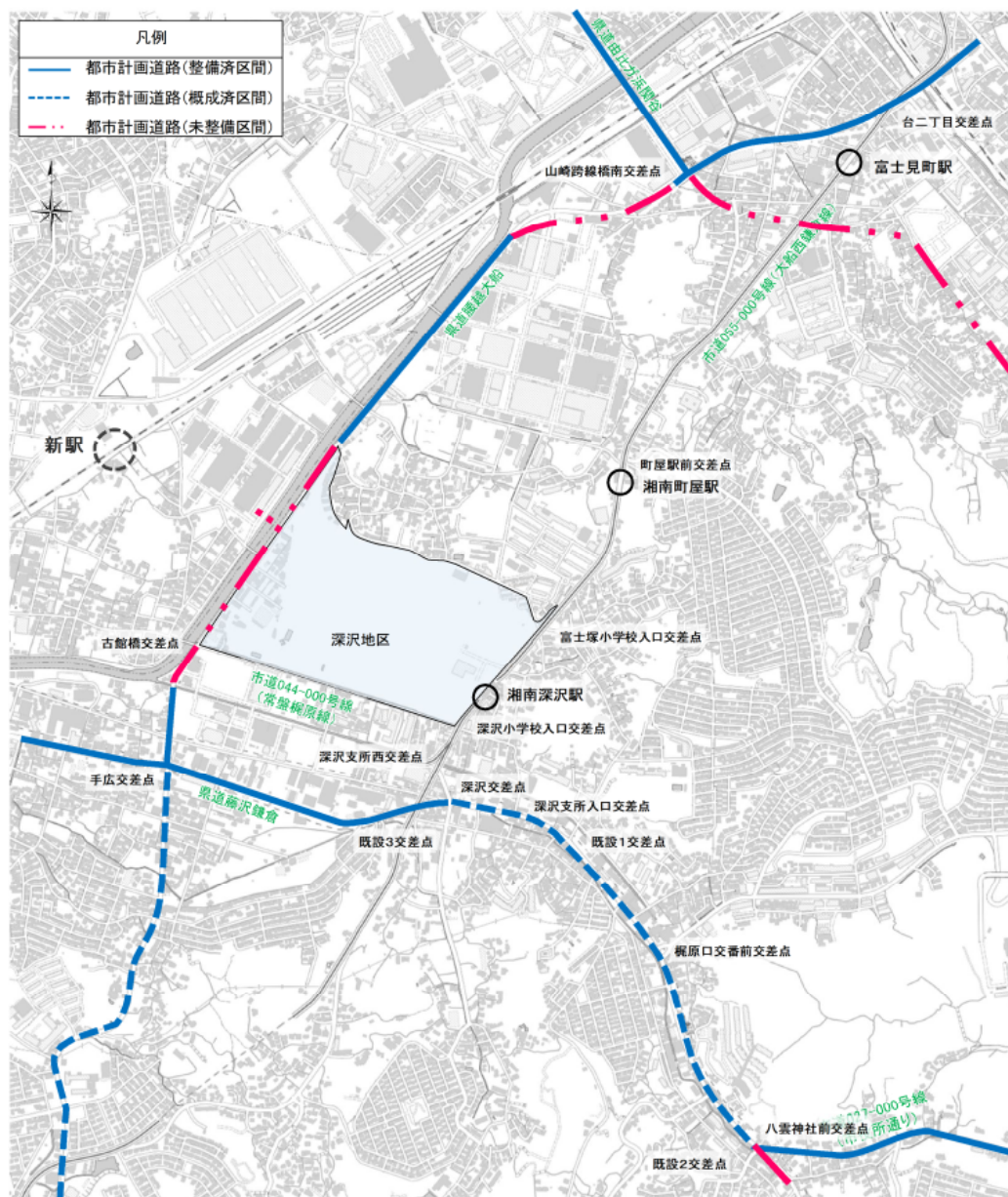
2) 都市計画道路の現況

深沢地区周辺の都市計画道路の状況について、県道 302 号（由比ガ浜関谷）は、山崎跨線橋南交差点から富士見町駅側は未整備区間、それ以外は整備済区間となっています。

県道 304 号（腰越大船）は、山崎跨線橋南交差点付近及び深沢地区土地区画整理事業用地付近は未整備区間、手広交差点以南は概成済区間、それ以外は整備済区間となっています。

県道 32 号（藤沢鎌倉）は、深沢交差点から八雲神社前交差点は概成済区間、手広交差点付近から深沢交差点までは整備済区間となっています。

深沢村岡線は、全線未整備区間となっています。



参照：鎌倉市 令和 4 年（2022 年）3 月告示分まで

図 2-5 都市計画道路の現況

3) 歩道の現況

深沢地区周辺の歩道の状況について、県道 32 号（藤沢鎌倉）の深沢交差点付近から八雲神社前、県道 304 号（腰越大船）の手広交差点以南、市道 055-000 号線（大船西鎌倉線）の富士見町駅周辺や湘南町屋駅周辺、富士塚小学校入口交差点付近、深沢小学校入口交差点から深沢交差点、市道 044-000 号線（常盤梶原線）の古館橋交差点から深沢支所入口交差点などで、歩道がある区間とない区間があり、連続性が確保されていません。また、市道 044-000 号線（常盤梶原線）の深沢小学校入口交差点から深沢支所入口交差点や市道 043-019 号線は片側歩道ですが、歩道が途中で左右入れ替わっており、連続性が確保されていません。

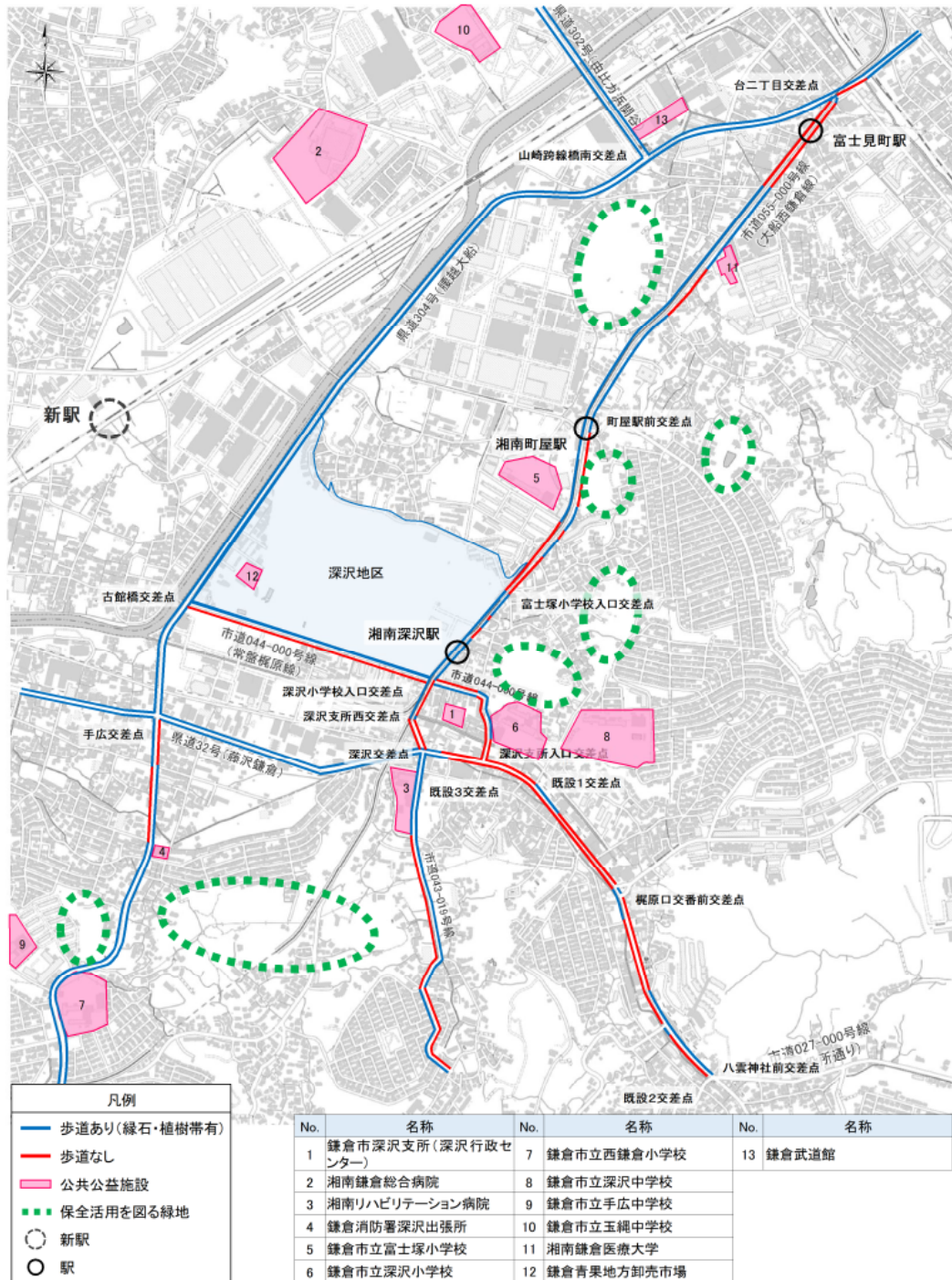


図 2-6 歩道の現況

4) 自転車通行空間の現況

深沢地区周辺の自転車通行空間の状況について、現在、自転車通行空間がないため、自転車の走行位置が不明確であり、自転車と自動車、自転車と歩行者が錯綜しています。

鎌倉市交通マスタープランを基に周辺道路整備計画では、将来的な自転車ネットワークの考え方を踏まえて整備を検討します。

○自転車通行空間の整備予定箇所

- ・都市計画道路及び都市計画道路を補完する市道
- ・鉄道駅へのアクセス道路

○整備方針

- ・交差点間など路線として走行空間を確保できる部分は、歩行者と自転車の分離した自転車通行帯の整備を検討
- ・既存建築物など走行空間の確保が困難な場合は、自動車混在型（矢羽根式路面標示）での整備を検討

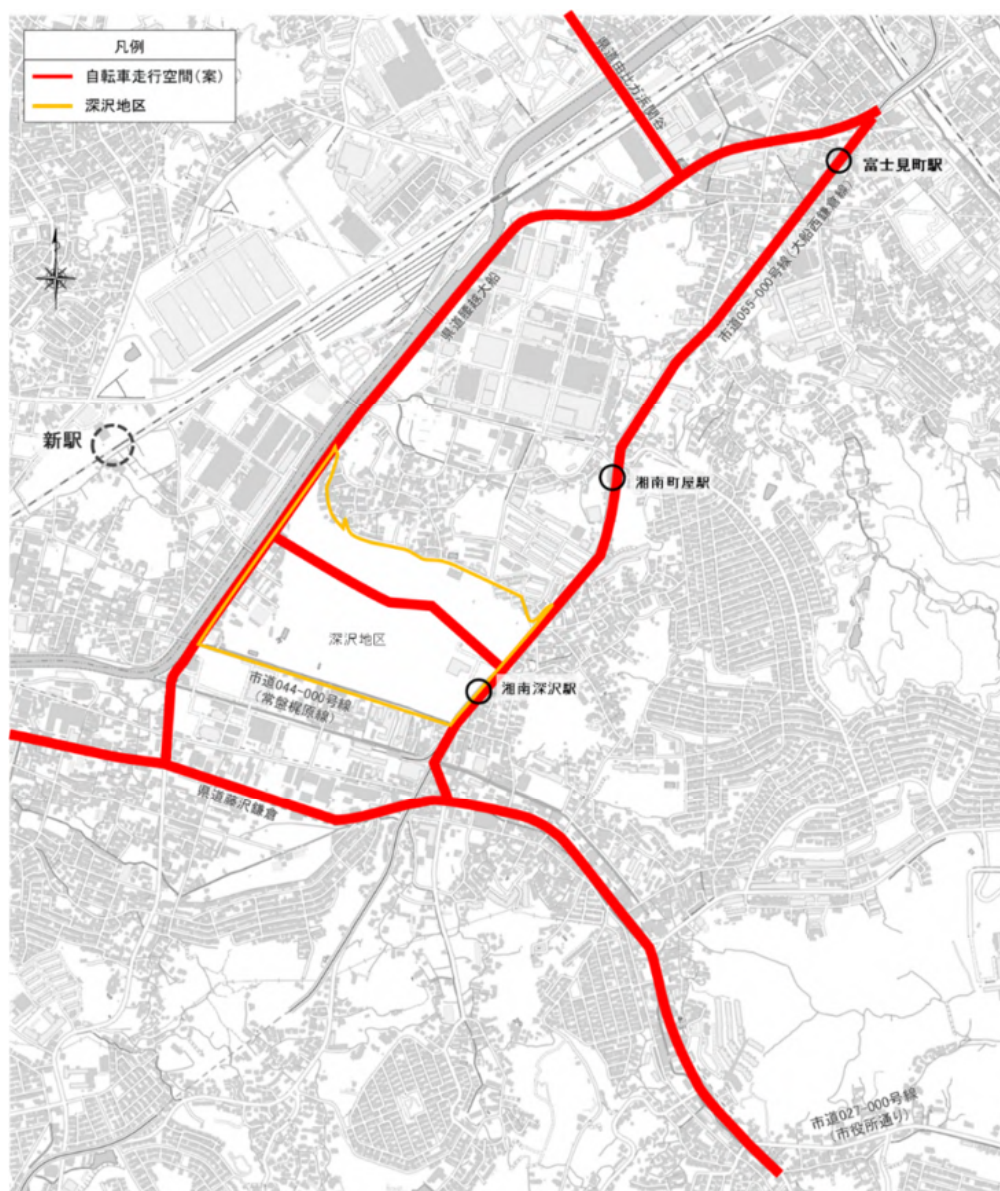


図 2-7 将来的な自転車ネットワークの考え方

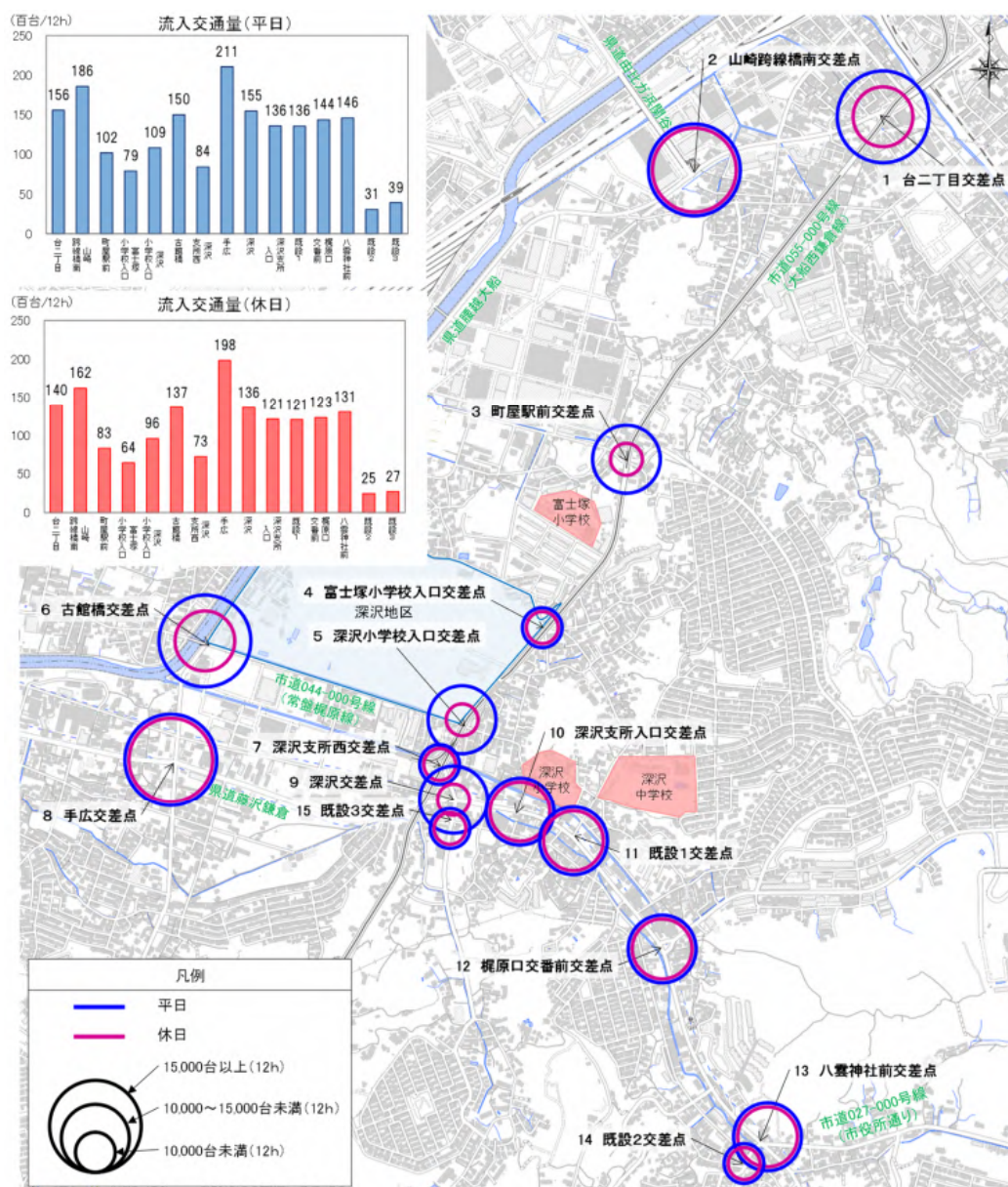
(2) 交通量の現況

令和5年（2023年）9月に深沢地区周辺の交通量調査を実施し、対象となる各交差点において12時間（7時～19時）の自動車交通量や歩行者通行量、自転車通行量を調査しました。

1) 自動車交通量

自動車交通量は、平日・休日ともに手広交差点が最も多く、次に山崎跨線橋南交差点が多いことが分かりました。

手広交差点では平日が約21,100台、休日が約19,800台と最も多く、次いで山崎跨線橋南交差点では平日が約18,600台、休日が約16,200台となりました。



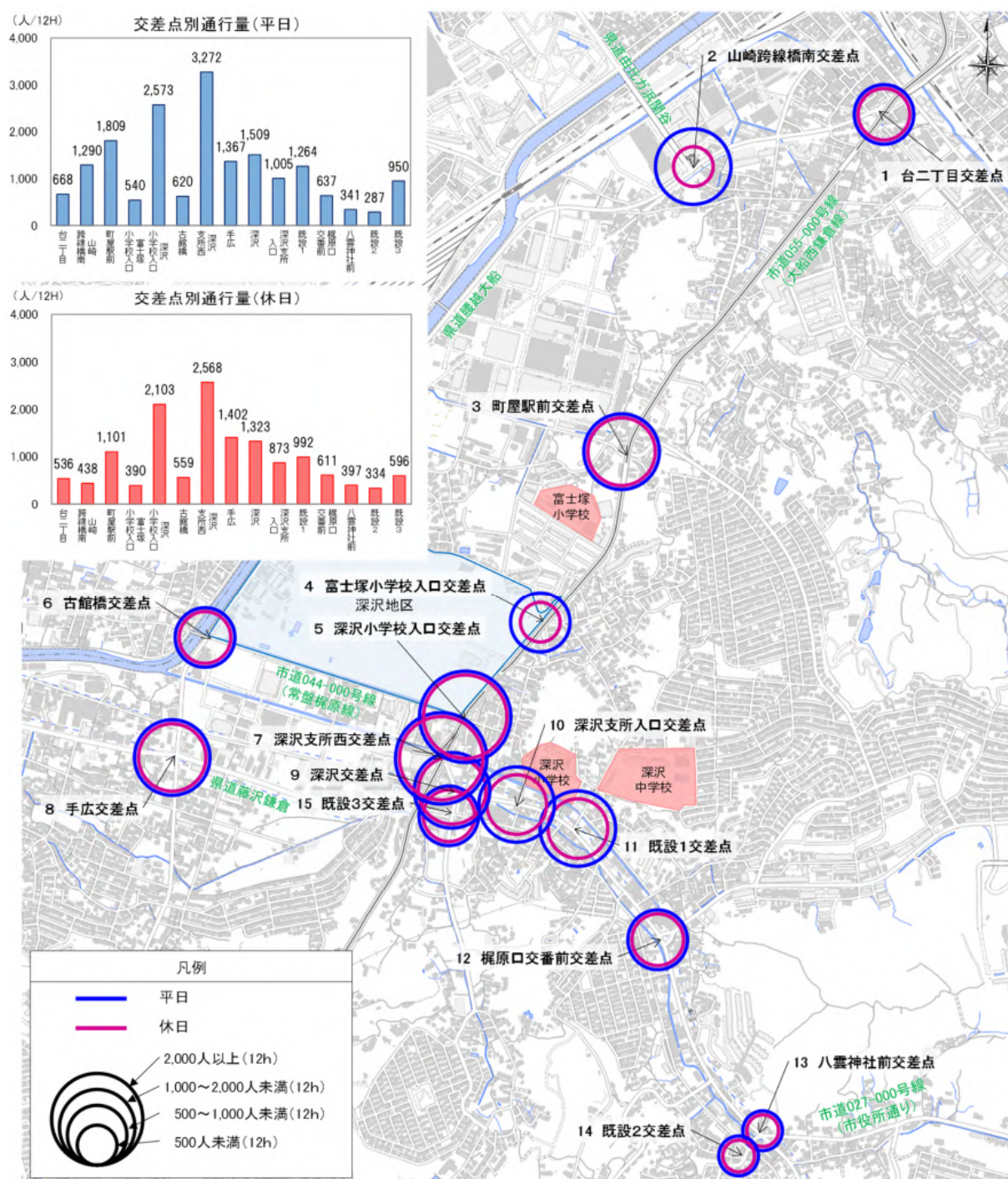
調査日：R5.9.13（水）、R5.9.24（日）

図 2-8 各交差点の12時間自動車交通量（流入計）（7-19時）

2) 歩行者通行量

歩行者通行量は、平日・休日ともに深沢支所西交差点が最も多く、次に深沢小学校入口交差点が多いことが分かりました。

深沢支所西交差点では平日が約 3,300 人、休日が約 2,600 人と最も多く、次いで深沢小学校入口交差点では平日が約 2,600 人、休日が約 2,100 人となりました。



調査日：R5.9.13（水）、R5.9.24（日）

図 2-9 各交差点の 12 時間歩行者通行量（合計）（7-19 時）

3) 自転車通行量

自転車通行量は、平日・休日ともに手広交差点が最も多く、次に平日は深沢支所西交差点、休日は古館橋交差点が多いことが分かりました。

手広交差点では平日が約 1,700 台、休日が約 1,900 台と最も多く、次いで平日の深沢支所西交差点では平日が約 1,200 台、休日の古館橋交差点では約 900 台となりました。

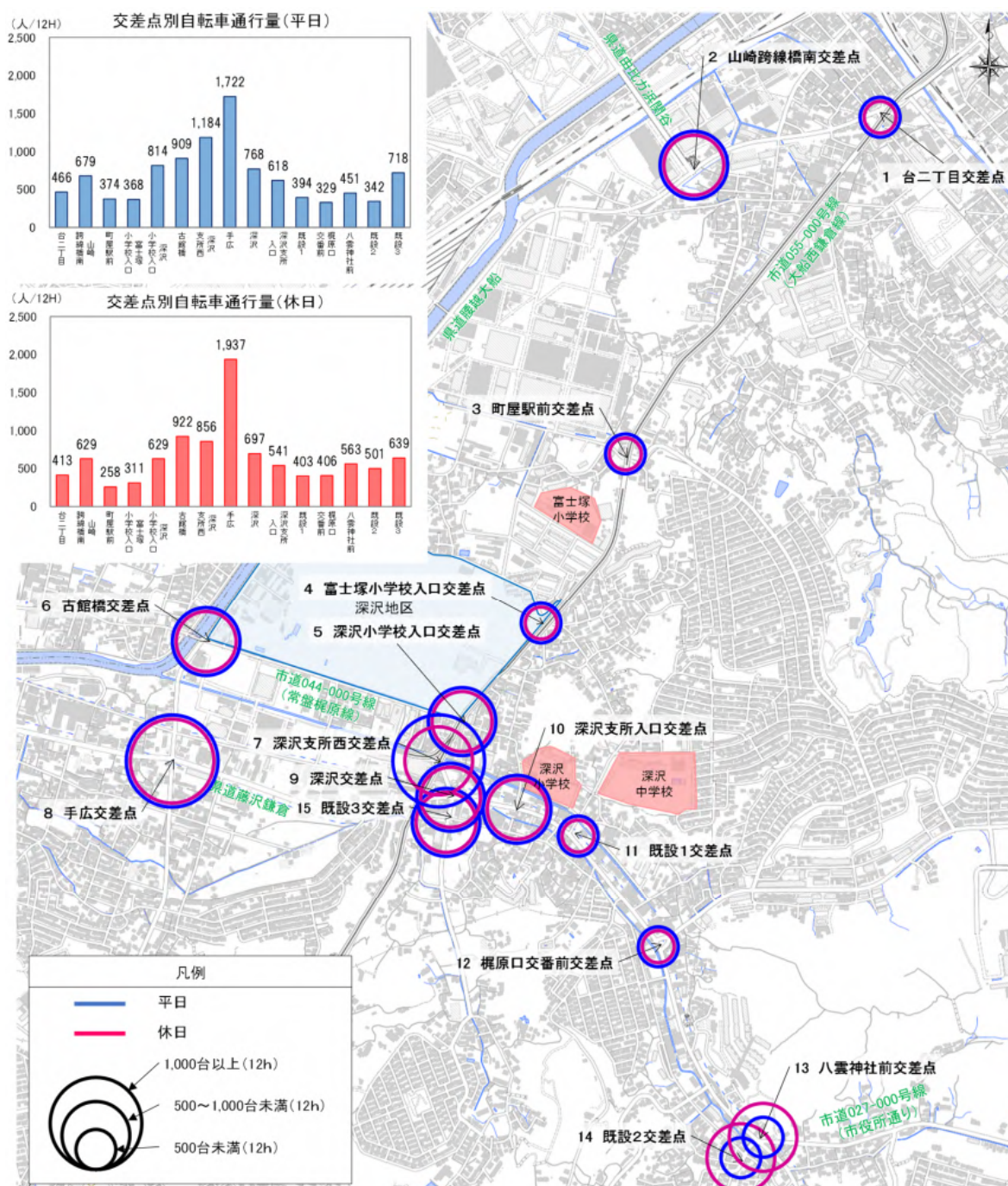


図 2-10 各交差点の 12 時間自転車通行量 (合計) (7-19 時)

(3) 令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査結果（道路交通センサス）

令和3年（2021年）の秋季に全国の幹線道路で実施された交通量調査結果（県道32号（藤沢鎌倉）及び県道304号（腰越大船）が該当）より、12時間（7時～19時）の自動車交通量や混雑時旅行速度、混雑度を整理しました。

1) 自動車交通量

深沢地区周辺の12時間（7時～19時）の自動車交通量は、県道32号（藤沢鎌倉）では10,000台以上となっており、県道304号（腰越大船）では5,000～7,500台未満となっています。



出典：令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査

図 2-11 昼間12時間交通量（全車）

2) 混雜時旅行速度

深沢地区周辺の混雑時旅行速度は、検討対象の幹線道路全てで 20km/h 未満となっています。



出典：令和３年度 全国道路・街路交通情勢調査 旅行速度は上下線の平均値

図 2-12 混雑時旅行速度

3) 混雑度

深沢地区周辺の混雑度は、県道 32 号（藤沢鎌倉）の混雑度は 1.25～1.75 未満となっており、ピーク時間を中心として混雑する状態となっています。



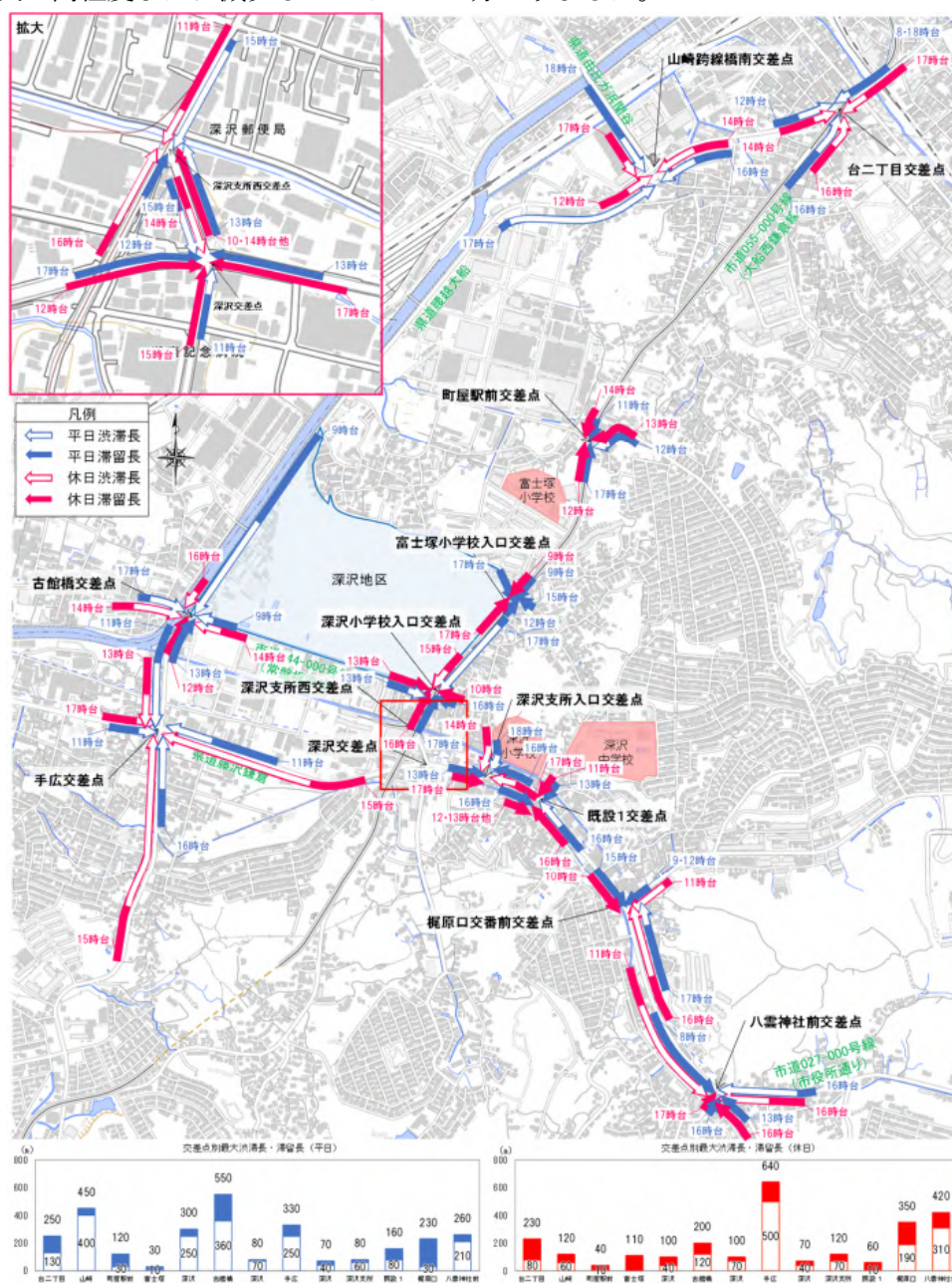
出典：令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査、道路の交通容量（社団法人日本道路協会）

図 2-13 混雑度

(4) 渋滞状況

令和5年（2023年）9月に深沢地区周辺の渋滞長調査を実施し、対象となる各交差点において12時間（7時～19時）の自動車渋滞・滞留状況を調査しました。

平日は、山崎跨線橋南交差点の渋滞長※1が最も長く、休日は、手広交差点の渋滞長が最も長くなることが分かりました。また、手広交差点、梶原口交番前交差点、八雲神社前交差点は、平日よりも休日の渋滞長が大幅に増加しており、その他の交差点は、平日よりも休日の渋滞長が同程度または減少していることが分かりました。



調査日：R5.9.13（水）、R5.9.24（日）

図 2-14 各交差点の最大渋滞長・滞留長※2（平日・休日）

※1 渋滞長：青信号表示終了時に流入部に滞留している車両の延長

※2 滞留長：渋滞長が存在していない状態で、赤信号表示終了時に流入部に形成されていた待ち行列の延長

(5) 交通事故の発生状況

深沢地区周辺の交通事故発生状況では、県道 32 号（藤沢鎌倉）（手広交差点～深沢交差点）や市道 055-000 号線（大船西鎌倉線）（富士塚小学校入口交差点～深沢小学校入口交差点）で 1 km 当たりの事故が 4 年間で 30 件以上発生しています。

また、富士塚小学校入口交差点から深沢支所西交差点の区間や県道 32 号（藤沢鎌倉）の既設 1 交差点や梶原口交番前交差点など、道路が狭く歩道のない区間では、人対車両の交通事故が発生しています。



出典：交通事故統計情報（R1～R4）

図 2-15 深沢地区周辺の交通事故発生状況

(6) バス路線

深沢地区周辺では、鎌倉駅や大船駅を中心に江ノ電バス及び京浜急行バスの路線バスが運行しています。県道 32 号（藤沢鎌倉）で 7 系統、市道 055-000 号線（大船西鎌倉線）で 3 系統、県道 304 号（腰越大船）で 10 系統運行しています。深沢支所西交差点の周辺、深沢交差点～八雲神社前交差点の間では、幅員が狭くバスベイのないバス停で路線バスが停車することで後続車が滞留しやすい状況となっています。

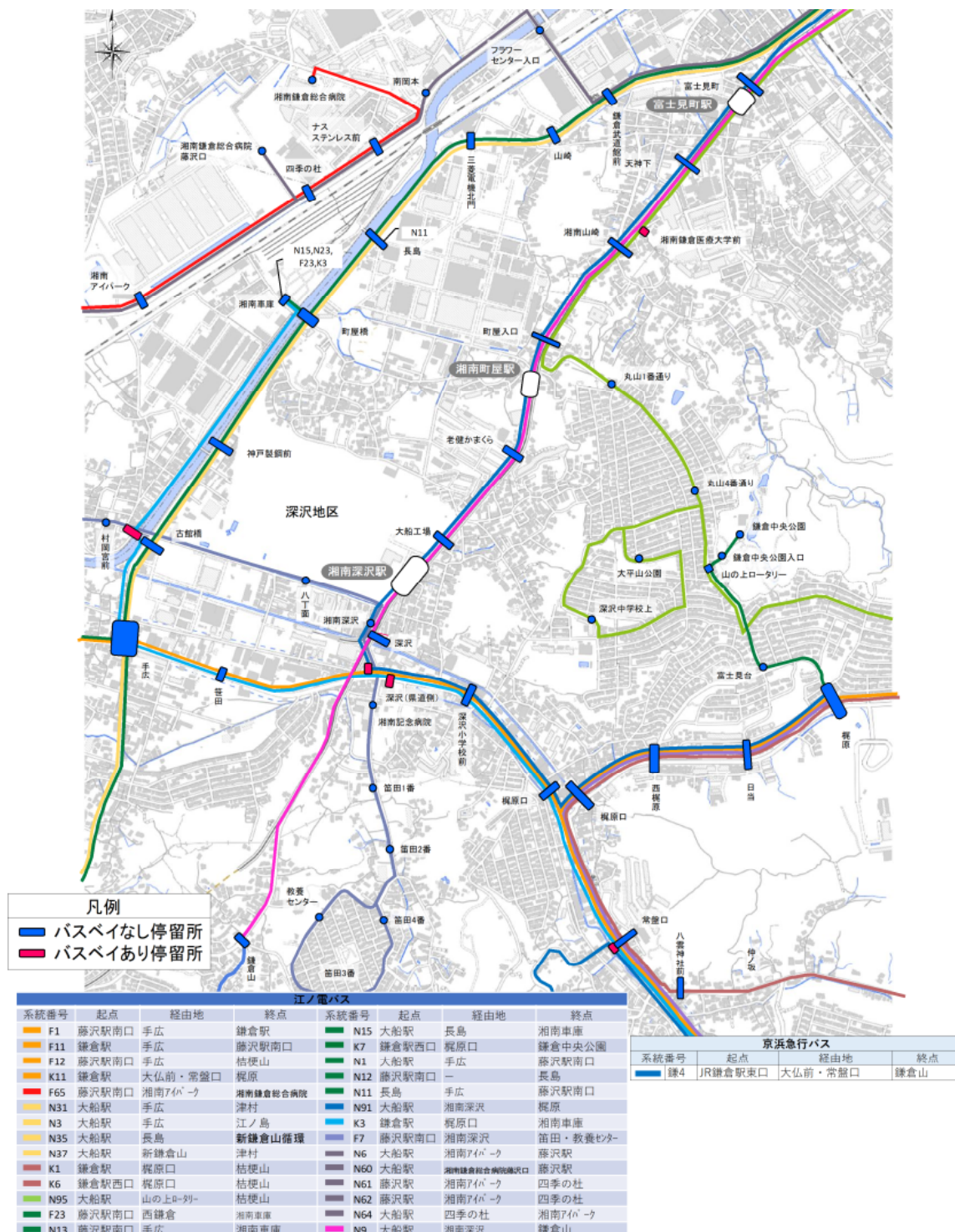


図 2-16 深沢地区周辺の路線バス運行状況（令和 8 年（2026 年）6 月時点）

(7) 将来の交通予測

深沢地区の土地利用計画を踏まえた開発交通量は、18,460 台/日と推定されており、深沢地区周辺道路の交通量の増加が想定されます。この開発交通量を踏まえた将来の道路ネットワークにおける交通量によると、県道 304 号（腰越大船）（古館橋交差点～手広交差点）や市道 055-000 号線（大船西鎌倉線）（深沢小学校入口交差点～深沢支所西交差点）は、現況より将来交通量が増加すると推定されています。このため、現在、手広交差点付近や深沢小学校入口交差点付近で発生している渋滞の悪化や渋滞に起因した交通事故の発生が懸念されます。

また、都市計画道路の未整備区間である県道 302 号（由比ガ浜関谷）（山崎跨線橋南交差点～富士見町駅側）や県道 304 号（腰越大船）（山崎跨線橋南交差点付近や深沢地区土地区画整理事業用地付近）は、現況より将来交通量の増加が推定されています。このため、山崎跨線橋南交差点付近の渋滞の悪化や渋滞に起因した交通事故の発生が懸念されます。

幹線道路が混雑すると、サービス・生活道路が抜け道として利用される傾向があり、これにより生活道路での歩行者や自転車との事故のリスクが増加する可能性があります。

一方で、新しいまちや新駅の整備により、藤沢駅、大船駅周辺の道路利用者の分散、自動車利用者の公共交通機関への転換、自動車に過度に依存しない交通体系の確立などの施策効果が見込まれ、駅周辺道路の混雑緩和及び深沢地区の歩行者や自転車の通行量の増加が想定されます。

2.4 道路・交通の課題

(1) 渋滞

手広交差点の現況は、平日・休日ともに交差点流入交通量が最も多く交通が集中しているにもかかわらず、腰越側からの流入部に右折レーンが未整備のため、右折待ち車両が左直進車の進行を阻害していることが原因となる自動車の詰まりが発生しています。

山崎跨線橋南交差点の現況は、手広交差点に次いで交通が多く交通が集中しているにもかかわらず、右折レーンが短い等の問題があり、交通集中や線形不良に伴う自動車の詰まりが発生しています。

県道 32 号（藤沢鎌倉）（深沢～八雲神社前）は、令和 5 年 7 月時点で路線バスが 8 系統運行し、最大 25 本/h と他の路線に比べて多い状況にあります。都市計画道路の未整備により車道幅員が狭く、バスベイは両方面の深沢と藤沢方面の常盤口にしかないため、バスの横をすり抜けることができません。このため、路線バスがバス停に停まるとバス停を先頭とした自動車の詰まりが発生しています。

市道 055-000 号線（大船西鎌倉線）（深沢小学校入口交差点～深沢支所西）は、令和 5 年 7 月時点で路線バスが 6 系統運行し、最大 19 本/h と多い状況にあり、同様の原因によりバス停を先頭とした自動車の詰まりが発生しています。

前述した手広交差点及び深沢交差点は、平日と休日ともに交通集中が激しく、手広交差点及び深沢交差点の鎌倉側（市役所側）からの流入部の右折レーンが短いため、右折待ち車両が左直進車の進行を阻害していることが原因で自動車の詰まりが発生しています。

八雲神社前交差点の市役所側からの流入部では、平日と休日ともに右折レーンがないことが起因とした自動車の詰まりが発生しています。

また、深沢地区の土地利用計画を踏まえた将来交通量によると、県道 304 号（腰越大船）（古館橋～手広）や市道 055-000 号線（大船西鎌倉線）（深沢小学校入口～深沢支所西）は、道路構造令の 4 種道路における設計基準交通量を上回ることが想定されています。このため、現在、手広交差点付近や深沢小学校入口交差点付近で発生している自動車の詰まりと同程度の自動車の詰まりが発生することが想定されます。

都市計画道路の未整備区間の山崎跨線橋南交差点付近は、現況より将来交通量の増加が想定されるため、自動車詰まりの増加が懸念されます。

自動車の詰まりに関する課題のまとめ

- 交通集中と右折レーンの未整備や右折レーン長の不足による自動車の詰まり
- 都市計画道路が未整備で車道幅員が狭く、すれ違い困難による渋滞や路線バスのバス停停車時にバスベイ未整備による自動車の詰まり



図 2-17 自動車の詰まり状況

(2) 交通

県道 32 号（藤沢鎌倉）（手広交差点～深沢交差点）や市道 055-000 号線（大船西鎌倉線）（富士塚小学校入口交差点～深沢小学校入口交差点）では、交通集中や自動車の詰まりを起因と考えられる追突等の車両相互の交通事故が多く発生しており、安全性に懸念があります。

富士塚小学校入口交差点から深沢支所西交差点の区間や県道 32 号（藤沢鎌倉）の既設 1 交差点や梶原口交差点などでは、車両と歩行者のすれ違い時の危険性或道路が狭く歩道のない区間で歩行者通行量が多いことを起因と考えられる人対車両の交通事故が発生しており、安全性に懸念があります。

市道 044-000 号線（常盤梶原線）の深沢小学校周辺等では、片側歩道が途中で左右入れ替わっており、車道を横断する際に車両との接触事故が懸念されます。

また、将来交通量の増加に伴い、特に歩車分離が図られていない道路では交通事故のリスクが増加する可能性が考えられます。幹線道路が混雑すると、サービス・生活道路が抜け道として利用される傾向があり、これにより生活道路での歩行者や自転車との事故の発生も懸念されます。

交通に関する課題のまとめ

- 交通集中や渋滞を起因とした追突等の車両相互の交通事故の増加
- 車両と歩行者のすれ違い時の危険性或道路が狭く歩道のない区間で歩行者通行量が多いことを起因とした人対車両の交通事故の危険性
- 深沢小学校周辺等では片側歩道が途中で左右入れ替わっており、車道を横断する際に車両との接触事故の危険性
- 将来交通量の増加に伴う交通事故発生リスクの増加や生活道路の抜け道利用による事故リスクの増加



※自動車の相互通行の状況



※車両と歩行者のすれ違いの状況 1



※車両と歩行者のすれ違いの状況 2



※幹線道路の混雑の状況

図 2-18 交通の課題がある状況

(3) 道路ネットワーク

県道 304 号（腰越大船）と市道 055-000 号線（大船西鎌倉線）を結ぶ幹線道路等は、県道 32 号（藤沢鎌倉）や市道 044-000 号線（常盤梶原線）のみでラダー状^{※1}（梯子状）の道路が不足しています。特に、上町屋地区は市道 055-000 号線（大船西鎌倉線）から県道 304 号（腰越大船）へのアクセスできる道路は住宅地の細路地のみとなっており安全性に懸念があります。

都市計画道路の概成済区間である県道 32 号（藤沢鎌倉）（深沢交差点から八雲神社前交差点）や県道 304 号（腰越大船）（手広交差点以南）では、右折レーン未整備による右折待ち車両が左直進車の進行の阻害やバスベイ未整備により、すり抜けスペースがないため後続車両が滞留することに伴う自動車の詰まりに起因したと考えられる交通事故が発生しています。

未整備区間である山崎跨線橋南交差点付近では、交通集中や右折レーン長の不足、都市計画道路の未整備区間を有するため、自動車の詰まりが発生しています。

また、深沢地区の土地区画整理事業の進捗により、新たな土地利用が進むと、新たに発生する自動車交通や交通集中による渋滞発生が想定されます。さらに、都市計画道路の未整備区間の山崎跨線橋南交差点付近は現況より将来交通量の増加が想定されるため、自動車詰まりの増加が懸念されます。

道路ネットワークに関する課題のまとめ

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">○ラダー状（梯子状）の幹線道路等の整備にあたり、地権者との合意が取れていない○都市計画道路の未整備区間において自動車の詰まりや交通事故の危険性○将来のまちづくりによる新たな自動車交通や交通集中による自動車詰まり増加の懸念 |
|--|

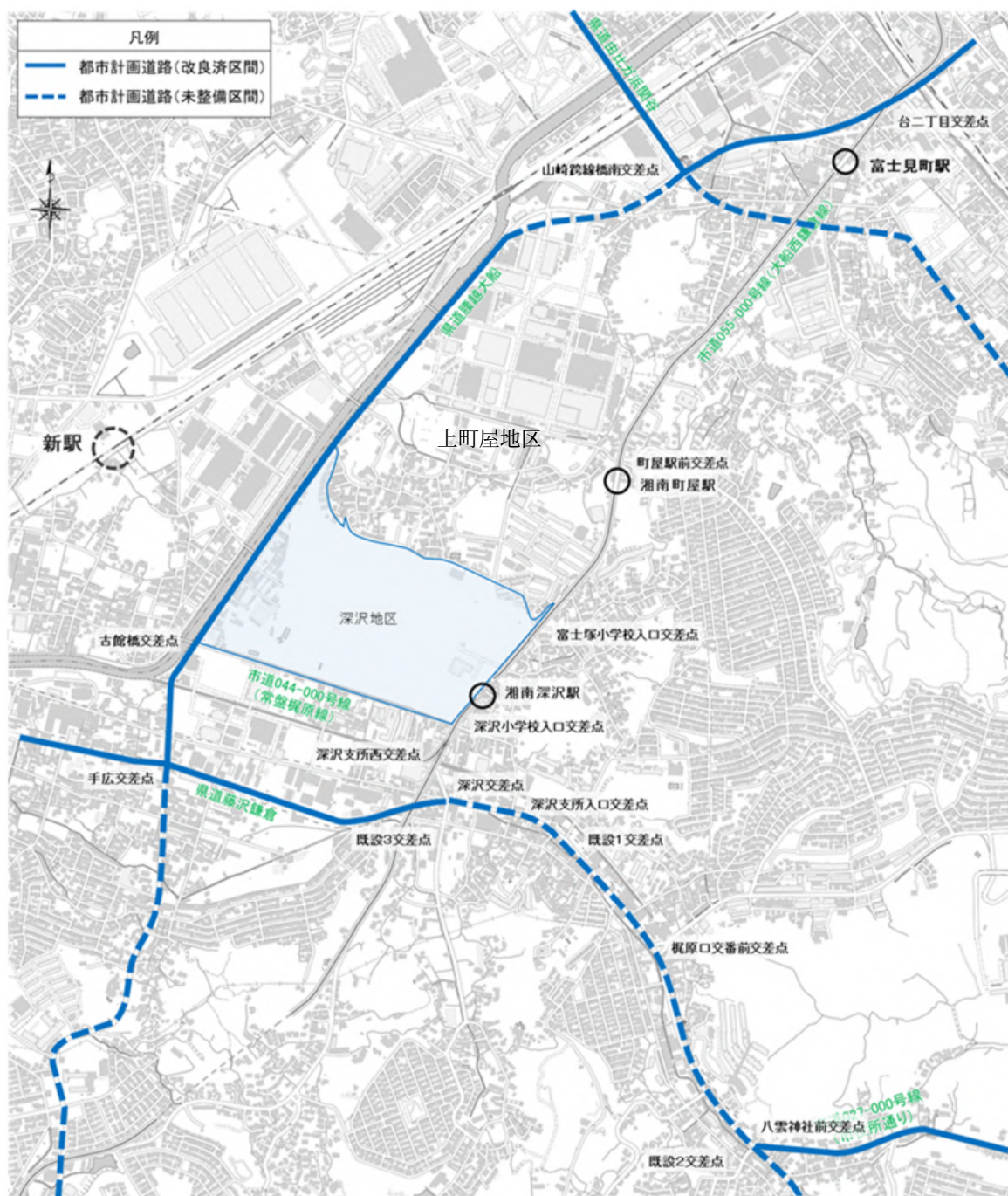


図 2-19 都市計画道路の整備状況

※1 ラダー状 : ラダー (ladder) は梯子 (はしご)、または梯子の形に似たもののことであり、県道 304 号 (腰越大船) や県道 32 号 (藤沢鎌倉)、市道 055-000 号線 (大船西鎌倉線) を骨格とし、それらを梯子の形で連絡すること

(4) 歩道

深沢地区周辺は幹線道路や補助幹線道路を中心に、駅や学校、公共施設を結ぶ道路において、歩道の連続性が確保されていません。

また、深沢地域の新しいまちづくり基本計画を踏まえた道路空間の緑を連続的につないだ周辺緑地や柏尾川等の自然環境と調和した歩道は整備されていません。

深沢地区の土地区画整理事業の進捗により、新たな土地利用が進むと、深沢地区周辺の交通量の増加が推定され、渋滞の増加が懸念されます。歩道の整備が不十分であれば、歩行者の危険性が増加し、特に交差点や交通量が多い場所での事故が懸念されます。

さらに、新たに形成される賑わいのあるまち並みに対して、道路や緑地と一体となった滞留空間を確保した道路空間が求められます。

歩道に関する課題のまとめ

- 駅、学校、病院、公共施設を結ぶ道路における連続した歩道の未整備
- 周辺緑地や柏尾川等の自然環境と調和した歩道の未整備
- 歩道の整備が不十分なことによる歩行者の事故の危険性が増加する懸念
- 新たに形成される賑わいのあるまち並みに対応した道路空間の形成



図 2-20 歩道の状況

(5) 自転車通行空間

深沢地区周辺は、現在自転車通行空間が未整備のため、自転車の走行位置が不明確であり、自動車や自転車と歩行者が錯綜しています。

また、深沢地域の新しいまちづくり基本計画で示されている、幹線道路や補助幹線道路、鉄道駅へのアクセス道路を自転車が安心して往来できる自転車通行空間の連続性が確保されていません。

自転車通行空間に関する課題のまとめ

○連続した自転車通行空間の未整備

○自転車通行空間の未整備による、自動車と自転車・歩行者との錯綜の発生



図 2-21 自転車の状況

3. 道路整備計画の基本目標

「深沢地域の新しいまちづくり基本計画」で定める交通の方針では、円滑な交通処理、他地域とのアクセスの向上、安心して往来できる歩行者・自転車ネットワークづくり等を目指すとともに、大気汚染・地球温暖化防止等、環境負荷の軽減を図ることを目標としています。

道路整備計画では、これらの交通の方針を実現するため、以下の基本目標を定めます。

3.1 基本目標

(1) 道路ネットワークの整備による都市機能の向上

深沢地域の骨格を形成し、「面整備ゾーン」の土地利用への対応や将来交通需要への対応、他地域とのアクセス向上を図るため、都市計画道路等の新設道路整備や道路拡幅整備を推進するとともに、幹線道路を補完するラダー状（梯子状）の補助幹線道路のネットワーク及び安全性、利便性、快適性、防災性など、地域の都市機能の向上を図る道路整備を目指します。

(2) 渋滞対策等による環境負荷の軽減

深沢地区の住民や街を訪れる人など誰もが安心して快適に移動するために、道路拡幅整備や右折レーン整備などの交差点改良、バスベイの設置など渋滞対策を推進し、環境負荷を軽減する道路整備を目指します。

(3) 安全・安心な歩行者・自転車ネットワークの形成

まちづくりのテーマである「ウェルネス※1」を実現するウォーカブル推進都市※2の実現に向け、子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らせる歩行者空間を確保するとともに、深沢地域の自然資源や歴史資源、公共公益施設をつなぐ歩行者・自転車ネットワーク化を図ります。

※1 ウェルネス：人・都市・社会にとって非常に好ましい総合的な健康社会をめざすこと

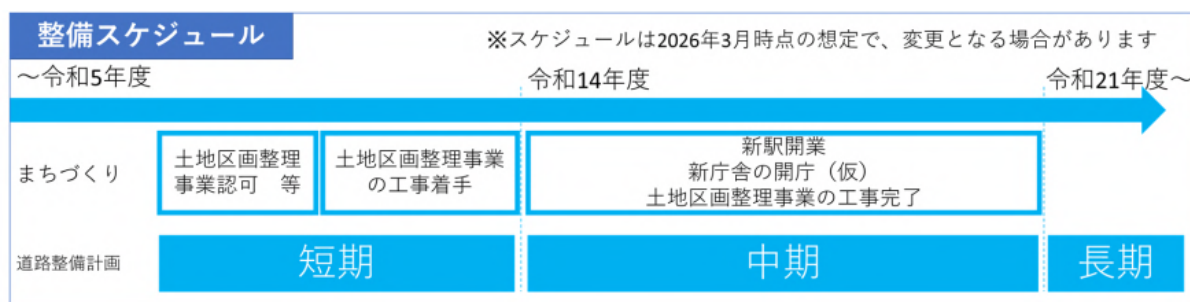
※2 ウォーカブル推進都市：「居心地が良く歩きたくなるまちなか」づくりを推進する都市

4. 道路整備計画

4.1 整備スケジュール

道路整備計画は、深沢地域の新しいまちづくり基本計画を実現するために、現状及び将来の課題を解消することを目的に、短期、中期、長期に区分して実施していきます。

短期は、現状の交通環境の改善のため優先して整備を行うもので、中期は、深沢地区の土地区画整理事業で整備する又は新たな土地利用による周辺交通の状況を見ながら整備を行うもの、長期は、道路拡幅または新設道路整備のための用地取得の状況を見ながら整備を行うものとしています。



4.2 道路整備計画

道路整備計画の基本目標における、道路ネットワークの整備による都市機能の向上、渋滞対策等による環境負荷の軽減を図る道路整備計画について、次頁以降に記載します。

深沢地域の新しいまちづくり基本計画を踏まえ、深沢地区において居心地が良く歩きたくなるまちなかを実現するために、生活者の安全性や防災性を確保する安全な道路を整備が必要であるとともに、周辺の自然環境と調和した居心地のよい道路空間の整備や、深沢地区のまちづくりと連動した歩きたくなる歩行者ネットワークの形成が必要です。

上記の歩行者ネットワークを実現するために、以下に整備方針を示します。

●駅・学校・病院等の公共公益施設へとつながる歩きやすい歩道整備

深沢地区において、幹線道路や補助幹線道路を中心に、駅や学校、公共施設を結ぶ歩道を連続的に整備することで、子供から高齢者まで様々な人が安心かつ快適に暮らせる地域づくりを支援する歩行者ネットワークを形成します。特に防災や通学の安全確保の観点から、学校や病院へのアクセスが可能な歩道の整備を目指します。

●深沢地区のまちづくりと連携した緑の歩行者ネットワークの整備

深沢地区のまちづくりと連携し、周囲の道路空間の緑を連続的につなぎ、周辺緑地や柏尾川等の自然環境と調和した、居心地がよく、歩きたくなる緑の歩行者ネットワークを構築します。

また、街路樹の配置等、街路空間の性格に合わせた魅力的な道路景観を形成するとともに、地区内において新たに形成される賑わいのあるまち並みを地区外に波及させるため、道路、緑地と一体となった滞留空間の確保と活用を図り、民地も含めて柔軟に利活用できるような道路空間の整備を目指します。

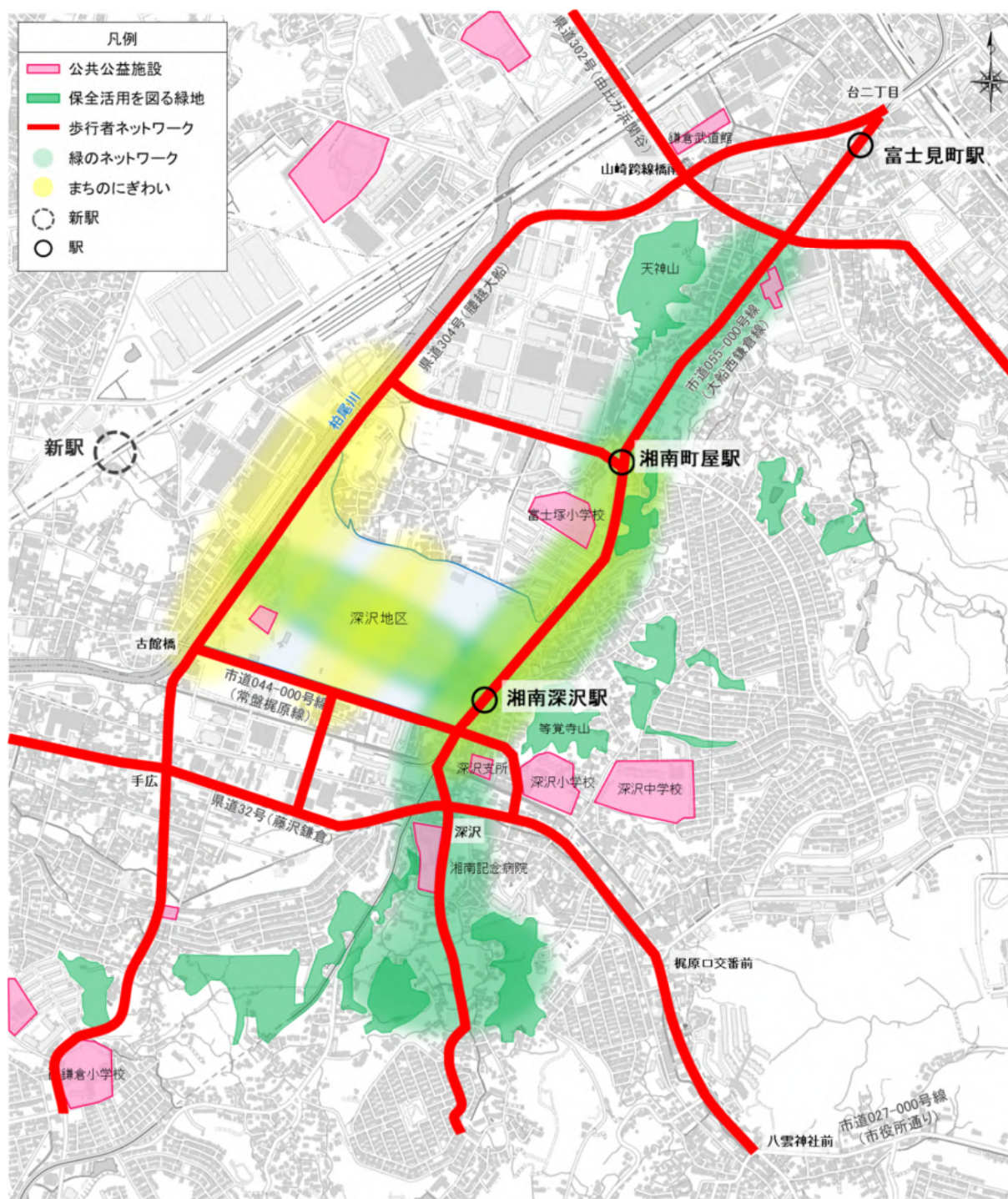
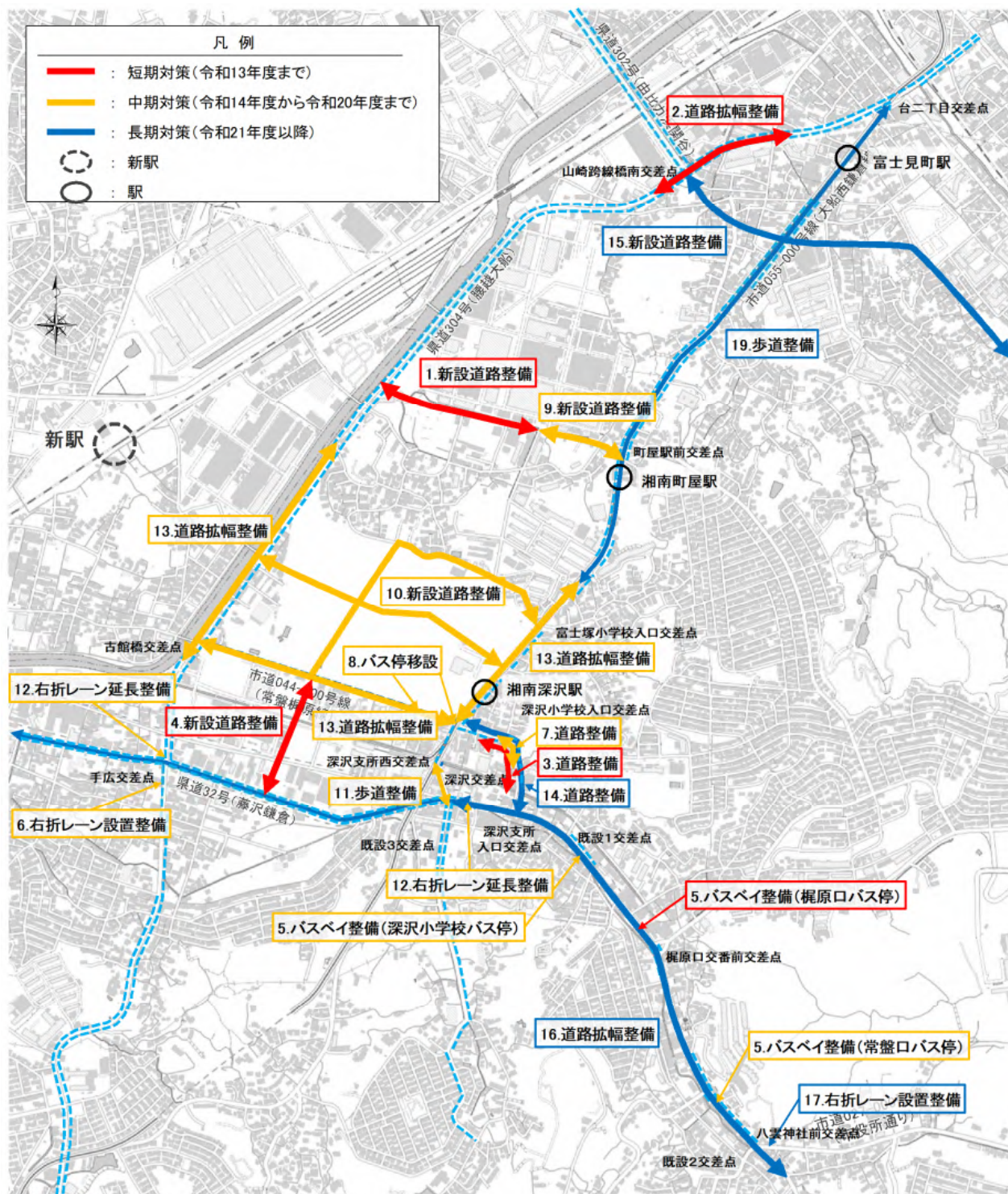


図 4-1 深沢地区のウォークブルな歩行空間

道路整備計画の基本目標における、安全・安心な歩行者・自転車ネットワークの形成を図るため、歩行者ネットワークの形成を図る道路整備計画について、次頁以降に記載します。



- ・ 深沢小学校周辺の道路整備 (3、7、14) について
 短期対策 (3) : 水路改修などの道路改良による通行の円滑化
 中期対策 (7) : 将来交通量を見据えた暫定整備
 長期対策 (14) : 歩行者・自動車の更なる安全性向上を重視した道路整備
- ・ 整備目標時期については、道路管理者や関係者等と積極的に調整を図り、前倒しを含めた見直しを行う。

図 4-2 道路整備計画図

表 4-1 道路整備計画

	対策	課題	整備内容	スケジュール
1.	新設道路整備(三菱電機南側道路1)	道路ネットワーク	幅員9m道路新設	短期
2.	県道304号(腰越大船))の道路拡幅整備 (山崎跨線橋南交差点～台二丁目交差点)	渋滞	交差点改良	短期
3.	道路整備(深沢小学校周辺)	交通安全	道路改良	短期
4.	新設道路整備((仮称)南北道路)	渋滞・道路ネットワーク	幅員12m道路新設	短期
5.	バスベイ整備(深沢小学校(上下線)、梶原口(上下線)、 常盤口(下り線))	渋滞	バスベイ新設	短期 中期
6.	右折レーン設置整備(手広交差点)	渋滞	交差点改良	中期
7.	道路整備(深沢小学校周辺)	交通安全	道路改良(歩道構成)	中期
8.	バス停移設 (湘南深沢バス停(一部系統のみ))	渋滞・道路ネットワーク	バス停の移設	中期
9.	新設道路整備(三菱電機南側道路2) (町屋橋付近～町屋駅前交差点)	道路ネットワーク	幅員拡幅9mへ	中期
10.	新設道路整備(深沢地区土地区画整理事業)	道路ネットワーク	幅員12m道路新設	中期
11.	歩道整備 (深沢支所西交差点～深沢交差点)	交通安全	歩道新設	中期
12.	右折レーン延長整備 (手広交差点、深沢交差点)	渋滞	道路改良	中期
13.	道路拡幅整備(深沢地区土地区画整理事業) ・ 県道304号(腰越大船) ・ 市道055-000号線(大船西鎌倉線) ・ 市道044-000号線(常盤梶原線)	渋滞・道路ネットワーク	幅員12m→18m 幅員改良 幅員12mへ拡幅	中期
14.	道路整備(深沢小学校周辺)	交通安全	道路拡幅	長期
15.	新設道路整備(県道302号(由比ガ浜関谷))	渋滞・道路ネットワーク	道路新設	長期
16.	県道32号(藤沢鎌倉)の道路拡幅整備 (深沢交差点～八雲神社前交差点)	渋滞・道路ネットワーク	道路拡幅	長期
17.	右折レーン設置整備(八雲神社前交差点)	渋滞	道路改良	長期
19.	歩道整備(市道055-000号線(大船西鎌倉線))	道路ネットワーク	道路改良	長期

1.新設道路整備（町屋橋付近～町屋駅前交差点）

深沢地域の新しいまちづくり基本計画の交通の方針を踏まえ、町屋橋付近～町屋駅前交差点を結ぶ骨格となる道路を整備し、交通ネットワークの機能強化を図ります。

深沢地区の土地区画整理事業に伴う将来の自動車交通量に対し、円滑に移動できる道路整備を進めます。

歩行者の安全性向上やバリアフリーに配慮した歩道の整備等の対策を講じて、安全・安心に往来できる道路空間の整備を目指します。

2.県道 304 号（腰越大船）の道路拡幅整備（山崎跨線橋南交差点～台二丁目交差点）

道路管理者と連携し、県道 304 号（腰越大船）の日常的な渋滞の緩和・解消に向けて右折レーン延伸と交差点形状の見直しや、自転車の走行空間の整備を講じ、自動車詰まりの緩和や安全性向上への対策を進めます。

道路管理者と連携し、歩行者の安全性向上やバリアフリーに配慮した歩道の整備等安全・安心に往来できる道路空間の整備を目指します。

3.道路整備（深沢小学校周辺）

水路の改修、学校用地の活用などの道路改良を行い、児童等が安全・安心かつ車両が円滑に通行を目指します。

4. 新設道路整備（（仮称）南北道路）

深沢地域の新しいまちづくり基本計画の交通の方針を踏まえ、シンボル道路などの骨格となる道路と深沢地区内外を結ぶ道路との交通ネットワークの強化に向け新設道路を整備し、深沢地区の土地区画整理事業に伴う将来の自動車交通量に対し、円滑に移動できる道路整備を進めます。ウォークアブルの観点に配慮しながら、歩行者や自転車の安全性向上に向けて、歩道や自転車通行空間の連続的な整備等の対策を講じて、安全・安心に往来できる道路空間の整備を目指します。

5. バスベイ整備（深沢小学校（上下線）、梶原口（上下線）、常盤口（下り線））

道路管理者と連携し県道 32 号（藤沢鎌倉）の自動車詰まり緩和に向けてバスベイ整備の対策を検討します。

6. 右折レーン設置整備（手広交差点）

道路管理者と連携し、県道 304 号（腰越大船）の自動車詰まりの緩和に向けて右折レーン設置整備を講じます。

7.道路整備（深沢小学校周辺）

深沢地区の土地区画整理事業に伴う将来の自動車交通量に対し、円滑に移動できる道路整備を進めます。

歩行者の安全性向上に向けて、歩道の連続的な整備等の対策を講じて、安全・安心に往来できる道路空間の整備を目指します。

8.バス停移設（湘南深沢バス停（一部系統のみ））

市道 055-000 号線（大船西鎌倉線）の自動車詰まりの緩和に向けて湘南深沢バス停の一部系統のバス停を移設する対策を講じます。

停車するバスの本数が減少することで、バス停周辺の自動車詰まりの緩和を進めます。

9.新設道路整備（町屋橋付近～町屋駅前交差点）

深沢地域の新しいまちづくり基本計画の交通の方針を踏まえ、町屋橋付近～町屋駅前交差点を結ぶ骨格となる道路を整備し、交通ネットワークの機能強化を図ります。

深沢地区の土地地区画整理事業に伴う将来の自動車交通量に対し、円滑に移動できる道路整備を進めます。

歩行者の安全性向上に向けて、歩道の連続的な整備等の対策を講じて、安全・安心に往来できる道路空間の整備を目指します。

10.新設道路整備（深沢地区土地地区画整理事業）

深沢地域の新しいまちづくり基本計画の交通の方針を踏まえ、シンボル道路などの骨格となる道路と深沢地区内外を結ぶ道路との交通ネットワークの強化に向け新設道路を整備し、深沢地区の土地地区画整理事業に伴う将来の自動車交通量に対し、円滑に移動できる道路整備を進めます。

ウォークアブルの観点に配慮しながら、歩行者や自転車の安全性向上に向けて、歩道や自転車通行空間の連続的な整備等の対策を講じて、安全・安心に往来できる道路空間の整備を目指します。

11.歩道整備（深沢支所西交差点～深沢交差点）

ウォークアブルの観点に配慮しながら、歩行者や自転車の安全性向上に向けて、歩道や自転車通行空間の連続的な整備等の対策を講じて、安全・安心に往来できる道路空間の整備を目指します。

12.右折レーン延長整備（手広交差点、深沢交差点）

道路管理者と連携しながら、県道腰越大船や県道藤沢鎌倉の日常的な右折待ち車両の自動車詰まりの解消に向けて右折レーン延長整備の対策を講じます。

13.道路拡幅整備・歩道整備（県道腰越大船、市道 055-000 号線（大船西鎌倉線）、市道 044-000 号線（常盤梶原線））

深沢地域の新しいまちづくり基本計画の交通の方針を踏まえ、骨格となる道路を整備し、深沢地区内外を結ぶ交通ネットワークの強化に向けて道路拡幅整備・右折レーンの整備を講じて、道路管理者と連携しながら、円滑に移動できる道路整備を進めます。

ウォークアブルの観点に配慮しながら、歩行者や自転車の安全性向上に向けて、歩道や自転車通行空間の連続的な整備等の対策を講じて、安全・安心に往来できる道路空間の整備を目指します。

14. 道路整備（深沢小学校周辺）

車が安全・安心に往来できるように、道路環境の整備を行います。サービス・生活道路として、歩行者や車が安全・安心に往来できる道路空間の整備を目指します。

15.新設道路整備（県道 302 号（由比ガ浜関谷））

道路管理者と連携し、鎌倉地域の日常的な渋滞の緩和・解消に向けて円滑に移動できる道路整備を進めます。

ウォークアブルの観点に配慮しながら、歩行者や自転車の安全性向上に向けて、歩道や自転車通行空間の連続的な整備等の対策を講じて、安全・安心に往来できる道路空間の整備を目指します。

16.県道 32 号（藤沢鎌倉）の道路拡幅整備（深沢交差点～八雲神社前交差点）

道路管理者と連携し、都市計画道路の整備とあわせて整備を実施します。

県道藤沢鎌倉の日常的な渋滞の緩和・解消に向けて、道路拡幅整備にあわせて右折レーン整備等の対策を講じて、円滑に移動できる道路整備を進めます。

ウォークアブルの観点に配慮しながら、歩行者や自転車の安全性向上に向けて、歩道や自転車通行空間の連続的な整備等の対策を講じて、安全・安心に往来できる道路空間の整備を目指します。

17.右折レーン設置整備（八雲神社前交差点）

市道 027-000 号線（市役所通り）の右折待ち車両の詰まりの緩和に向けて右折レーン設置整備の対策を講じます。

19. 歩道の整備（市道 055-000 号線（大船西鎌倉線））

ウォークアブルの観点に配慮しながら、歩行者の安全性向上に向けて、歩道空間の連続的な整備を進め、安全・安心に往来できる道路空間の整備を目指していきます。

4.3 ■将来的な自転車ネットワーク設定について

都市計画道路及び都市計画道路を補完する市道、鉄道駅へのアクセス道路において、交差点間などの路線として自転車の走行空間が確保できる部分は、自転車通行帯としての整備を検討することや、既存の建築物などで走行空間の確保が困難な場合は、自動車混在型（矢羽根式路面標示）での整備を検討します。

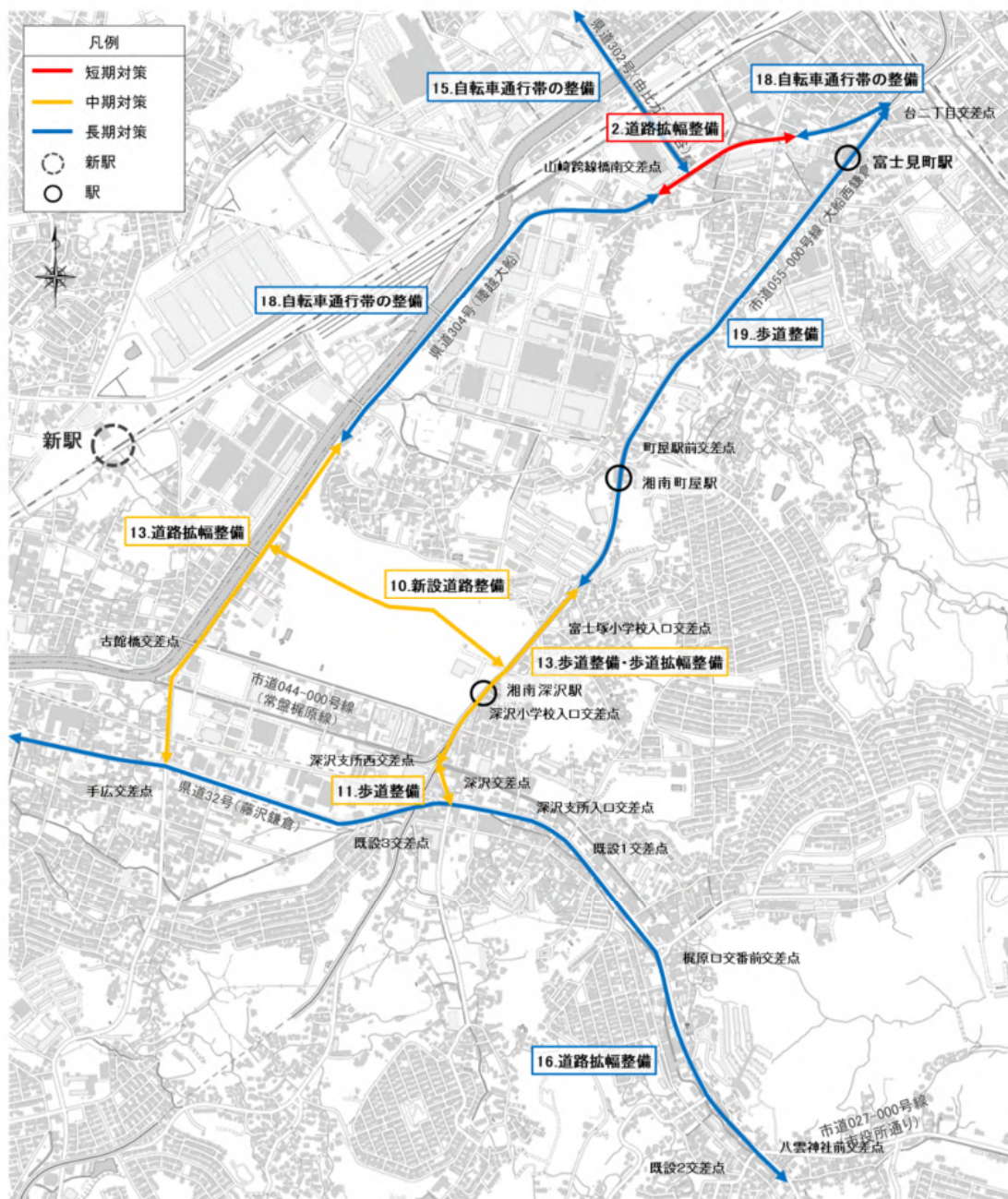


図 4-3 自転車ネットワーク（深沢地区）

表 4-2 自転車ネットワーク（深沢地区）

対策	課題	スケジュール
2. 県道 304 号（腰越大船）の道路拡幅整備 （山崎跨線橋南交差点～台二丁目交差点）	自転車通行空間 （自転車通行空間がない）	短期
10. 新設道路整備（深沢地区土地区画整理事業）	道路ネットワーク	中期
11. 歩道整備 （深沢支所西交差点～深沢交差点）	自転車通行空間 （自転車通行空間がない）	中期
13. 歩道整備・歩道拡幅整備 （県道 304 号（腰越大船）、市道 055-000 号線（大船西鎌倉線）、市道 044-000 号線（常盤梶原線））	自転車通行空間 （自転車通行空間がない）	中期
15. 自転車通行帯の整備（県道 302 号（由比ガ浜関谷））	道路ネットワーク	長期
16. 県道 32 号（藤沢鎌倉）の道路拡幅整備 （深沢交差点～八雲神社前交差点）	自転車通行空間 （自転車通行空間がない）	長期
18. 自転車通行帯の整備（県道 304 号（腰越大船））	自転車通行空間 （自転車通行空間がない）	長期
19. 歩道の整備（市道 055-000 号線（大船西鎌倉線））	自転車通行空間 （自転車通行空間がない）	長期

2. 県道 304 号（腰越大船）の道路拡幅整備（山崎跨線橋南交差点～台二丁目交差点）

自転車の走行空間が不明確で車両と自転車が錯綜しているため、道路管理者と通行空間（自転車通行帯等）の連続的な整備を講じて、安全・安心に往来できる道路空間の整備を目指します。

10. 新設道路整備（深沢地区土地区画整理事業）

ウォークアブルの観点に配慮しながら、歩行者や自転車の安全性向上に向けて、歩道や自転車通行空間の連続的な整備等の対策を講じて、安全・安心に往来できる道路空間の整備を目指します。

11. 歩道整備（深沢支所西交差点～深沢交差点）

ウォークアブルの観点に配慮しながら、歩行者や自転車の安全性向上に向けて、歩道や自転車通行空間の連続的な整備等の対策を講じて、安全・安心に往来できる道路空間の整備を目指します。

13.歩道整備・歩道拡幅整備（県道 304 号（腰越大船）、市道 055-000 号線（大船西鎌倉線）、市道 044-000 号線（常盤梶原線））

ウォークブルの観点に配慮しながら、歩行者や自転車の安全性向上に向けて、歩道や自転車通行空間の連続的な整備等の対策を講じて、安全・安心に往来できる道路空間の整備を目指します。

15.自転車通行帯の整備（県道 302 号（由比ガ浜関谷））

ウォークブルの観点に配慮しながら、歩行者や自転車の安全性向上に向けて、歩道や自転車通行空間の連続的な整備等の対策を講じて、安全・安心に往来できる道路空間の整備を目指します。

16.県道 32 号（藤沢鎌倉）の道路拡幅整備（深沢交差点～八雲神社前交差点）

ウォークブルの観点に配慮しながら、歩行者や自転車の安全性向上に向けて、歩道や自転車通行空間の連続的な整備等の対策を講じて、安全・安心に往来できる道路空間の整備を目指します。

18.自転車通行帯の整備（県道 304 号（腰越大船））

自転車の通行空間が不明確で車両と自転車が錯綜しているため、道路管理者と連携し、ウォークブルの観点に配慮しながら、歩行者や自転車の安全性向上に向けて、自転車道（自転車通行帯等）の連続的な整備を講じて、安全・安心に往来できる道路空間の整備を目指します。

19.歩道の整備（市道 055-000 号線（大船西鎌倉線））

ウォークブルの観点に配慮しながら、歩行者の安全性向上に向けて、歩道空間の連続的な整備を進め、安全・安心に往来できる道路空間の整備を目指します。

5. 道路整備の実施手順

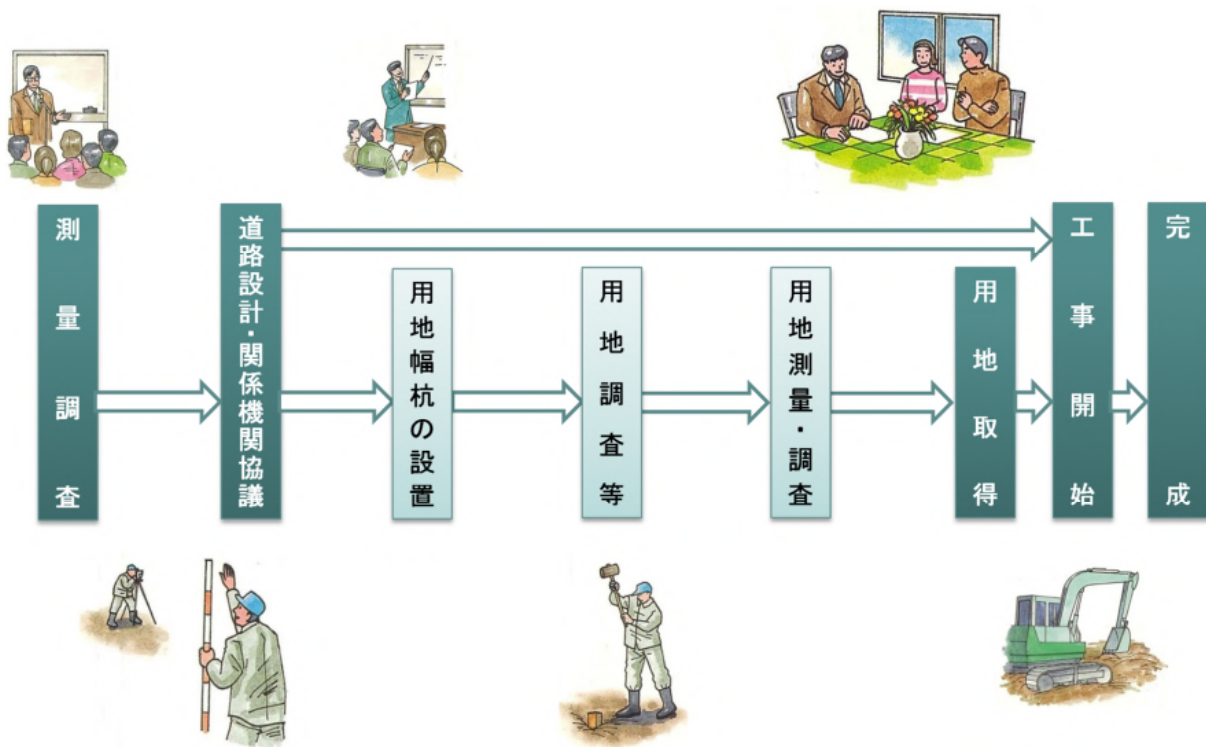
道路整備は以下のような手順で実施していきます。

※本手順は想定であり、実際に着手した際には記述とは異なる手順となる場合があります。

(1) 新設道路の実施手順



(2) 交差点改良の実施手順



右折レーン・バスベイ整備についても交差点改良の実施手順と同様

6. 道路整備計画の進捗管理

道路管理者（神奈川県及び鎌倉市）及びその他関係機関等と連携し、整備時期の前倒しも含めて深沢地区周辺の道路整備を進めていきます。また、道路整備にあたっては、都市計画道路に位置づけて整備するなど、具体的な整備手法を検討します。

なお、本整備計画は、今後の深沢地区の土地区画整理事業の進捗や、新駅の開業、深沢地区周辺の駅・病院・学校・バス停など公的な施設との連続性を考慮し、ウォークブルの観点から歩行者の安全性と利便性の向上を目指し、内容を見直すものとします。